大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

昭和十二年七月二十二日　新京日日新聞　（木曜日）　第五千二百七號　（一）

新京日日新聞

夕刊　七月二十一日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓　郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)(3)三二三二　營業局專用(3)(3)三三〇五
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

海岸線の防備を嚴に
支那側戰闘準備
國府軍事委員會指令

【南京廿日發國通】國民政府軍事委員會は十九日山東、江蘇、浙江、福建、廣東各省の軍事長官に宛て

戰闘全國に波及する虞れあり、海岸線防備を嚴重にして敵軍の進擊に備へよ

との指令を發した

反擊あれば殲滅の準備あり
鈴木參謀決意を語る

【〇〇〇〇廿日發國通】廿日午後の戰闘後鈴木參謀は戰闘經過を説明した後、今後の方針につき左の如き決意を語つた

わが方は引續き嚴重敵軍を監視しつゝあるが、さらに攻擊し來れば直ちにこれに殲滅的打擊を加へる準備がある

宋哲元氏聲明
合理的解決を望む

【北平廿日發國通】宋哲元氏は廿日朝北支事變に關し書面をもつて左の聲明を發した

余は鞏固なる平和の擁護者として國事は常に國家の利益をもつて前提となすことは余の主義である、今回の蘆溝橋事件の發生は決して日支兩大民族の希ふところならざることを斷言するものである、余は日支兩大民族が互讓互信の大精神より誠意をもつて東亞和平の促進を圖り人類の福祉增進に資することを切望するものである、今次事變の處理に對し哲元は合法合理の解決を求めんとするものであるが、希くば國人は謠言にまどはされず挑發に乘ぜられることなく國家の大事はたゞ靜かに國家による解決をまたれたい

卅七師を撤退
保安隊と入替を約す

【北平廿一日發國通】十九日發せられた蘆溝橋附近における支那軍の不法行爲停止に關する我が方の最後的通牒に對しては、期限たる廿日正午に至るも支那側よりの回答來らざるのみならず、却つて數回に亘る不法射擊が繰返へされた結果、遂に我が部隊は起つて膺懲射擊をなし支那軍事行動を沈默せしめたが、その後に至り宋哲元氏は衞門口、八寶山一帶にある卅七師を廿一日午前十時から正午までの間に撤退せしめ、石友三部下の保安隊と入替へる事を約したよつてこれが實行見屆けと誤解防止のため日本側代表中島、櫻井、笠井の三軍事顧問、程希賢旅長以下の支那側代表とゝもに廿一日早朝現地に赴く筈である

廿九軍兵士
北平市中またも土嚢陣構築

【北平廿一日發國通】北平城內の二十九軍は戒嚴令の施行にあたらぬ事となり、十九日夜はこれが實行され戒嚴は全部保安隊の手に委ねられてゐたが、廿日の日支兩軍衝突を理由に夜半から二十九軍兵士は再び市內要所に立ち現れ市中要所に土嚢陣の再構築を開始した、これがため折角保安隊の手によつて平靜に歸した北平城內は又もや不安の空氣が漂ふに至つた

河北省侵入部隊
總數五萬
空軍續々北上

【上海廿日發國通】我が方の隱忍自重を奇貨とし梅津、何應欽協定を蹂躙し、公然挑戰行動に出た支那側は、引續き中央軍主力部隊を北上、河北省內に侵入せしめてゐるが、現在までに判明せる河北省侵入部隊は第十師全部及び卅九卅、卅一、八十四各師の一部で兵力約五萬と見られ、なほ後續部隊も續々北上、省內に侵入するの形勢にある、なほ杭州、南京等にあつた軍用飛行機は夫々蔣介石の指令を受けて空軍根據地に集結中であるが、杭州からは去る十四日三隊に分けて約六十機が洛陽に向つた、ボーイング重爆擊機、ノースロップ戰闘機がその主力をなしてゐるもので、洛陽に到着以來盛んに附近を飛行、人心の抗日意識を煽つてゐる

畏し　聖上陛下
時局を御軫念
各皇族方も御避暑御取止

【東京國通】事變勃發以來畏くも天皇陛下には御避暑も數日にて、急ぎ宮城に還幸、暑中にも拘らず終日陸海外關係當局より奏上の北支事變に關する諸情報を御聽取遊ばされた上、御多端な政務をみそなはせられるが、殊に支那兵の協定蹂躙に加へて度重なる不法射擊に我軍が遂に勘忍袋の緒を切つて宛平縣城の支那兵に一擊を加へた廿日は殊のほか御軫念遊ばされ、廣田外相が緊急閣議後午後九時十分と言ふに急遽參內の趣を聞召され、畏くも早速御座所に出御、百武侍從長侍立の上廣田外相に拜謁仰付られ、詳さに情勢奏上を御聽取遊ばされた御由で承るだに畏き極みである、又時局の中心三宅坂に重責を帶びさせられて連日御勤務御精勵遊ばされる閑院參謀總長宮殿下ならびに伏見軍令部總長宮殿下を始め奉り各皇族方にも深く時局を御憂慮遊ばされ、今夏は各宮様とも御避暑を御取止め遊ばされたと承る

支那軍射擊のうろたへ振り
戰場に見る皇軍將兵の意氣

【一文字山廿日國通特派員發】勘忍袋の緒を切つたわが膺懲射擊に對し身の程を知らぬ支那側の

射擊

は的が外れ、破裂點或は高く或は低く徒らに笑を買ふに止まつた

彼の十八番の迫擊砲はいづれも數百米前方に飛散して土壤をかき立てゝゐるのみ、わが砲兵陣地に見舞ふ砲彈はいづれも不發に終り、わが軍は直ちに危險區域の赤信號を掲げ絶對出入禁止のナンセンスを生んでゐる、蘆溝橋附近に敷設せる御自慢の數十の地雷もわが砲彈に見舞はれて爆發するし、地形上射擊の的となつた望樓はわが方の射擊によつて巨大な材木を飛散させて崩れかゝつてゐる、百度以上の炎熱に奮闘するわが將士の姿は涙なくてはみられない、滴くやうな汗は背中を通して背嚢の側面に滲み出てゐる

水不足に苦しむ兵士が路傍の濁水に渇をいやさんとする姿を見た將校「我慢せよ、惡水を呑んではならぬ、俺の水筒を持つて行け」と溫情をもつた言葉に「我慢します」と部署につく兵士の姿、幾多感激的シーンを殘して戰闘は終りをつげた、敵は懲りてしまつたのか音も出さぬ、發砲すれば斷乎膺懲と嚴重監視を續ける第一線將士に糧食が運ばれて行く、落ちかゝつた

望樓

が空に黑く浮んでゐる、月光が戰ひの跡を照してゐる、下界には灯一つ見えぬ靜まりきつた平原に默々征旅が動いてゐる（寫眞は河邊隊長）

廣東在住の邦人は安全

【廣東廿日發國通】廣東の支那紙は廿日より日本品の廣告掲載を一切停止し、更に日本空軍の來襲に備へる防空警報の符號が新聞に發表された、約三百名の邦人居留民は殆んど沙面の租界に居住してをり沙面近くの珠江には帝國軍艦〇〇が警備にあたつてゐるので現在のところ邦人の生命に危害の及ぶおそれはない

外相官邸で起居

【東京國通】廣田外相は廿日午後十一時外相官邸に堀內次官、石射東亞局長を招致して政府の方針に基き今後外務當局として執るべき措置につき種々協議打合せを遂げた、尚外相は事變が益々擴大の傾向にあるので、今後は官邸に起居し、非常の變に處すべき態勢をとることゝなつた

佛紙の論調

【パリ十九日發國通】北支情勢の發展につきエコー・ド・パリ紙は十九日左の如く論じてゐる

日本政府は解決の遲延に業を煮やし宋哲元氏と南京政府とに最後的意思表示を突きつけた、かくて日本政府は强硬態度に出でんとしてゐる、假に日支間に衝突が起つても戰爭は局限されやう、事實ソヴィエト聯邦は歐洲の危局に鑑み日支間に介入しないだらうし、國際聯盟は無力だし、一九三二年のスチムソン聲明に加擔しなかつた英國は今日地中海およびスペイン問題に氣をとられ、日支間の問題に介入するやうなことはあるまいと論じ、急進社會黨派レスプーブリック紙は米、ソ、聯盟の三者が事態に對し干渉を回避してゐることは著るしい事實であると論じてゐる

河邊隊長の豪膽に
各國武官感歎

【〇〇〇廿日發國通】廿日午後日支兩軍衝突の報に、北平在住の英米ソ各國武官および新聞記者は續々前線視察のため〇〇〇に〇〇〇部隊司令部を訪れて來たが、河邊部隊長が敵の最前線宛平縣々城を去ること僅か〇キロの地點にあつて部隊を指揮してゐる豪膽さに何れも感歎してゐる

時局に鑑み
松岡總裁訓諭

時局重大時に鑑み滿鐵總裁松岡洋右氏は社員に對し左の如き示達及び訓諭を發した

△示達

北支の時局に關聯して各機關の連絡は益々緊密を要し之が爲め電氣通信業務は愈よ重要の度を加へ來り電信電話の輻輳甚しく限ある電氣通信回線を以つては疎通不可能の狀態に在るを以つて一般に左の各項に留意して電信電話を最も簡潔有効に利用することに努めらるべし

（一）電話は簡單を旨とし極力通信時分の短縮に努むること（二）電話及電報の重複使用を可及的避くること（三）電報受領後の處理を特に迅速に爲すこと

△訓諭

七月七日蘆溝橋附近に於ける支那軍の不法射擊に端を發せる北支事變は事態重大化の今後の推移逆睹を許さざる狀況に在り帝國政府は遂に國際正義に立脚し擧國一致時局を解決するの重大決意を爲すに至れり

此の秋に當り我社は其の使命に立脚し全機能を擧げて國難に當り率先報國の誠を致さんとす

全社員諸氏和衷協同社業に邁進すると共に克く皇軍と協力して臨機應變の處置を採り國策的使命の遂行に遺憾なきを期せざるべからず

玆に事變勃發以來各種の任務に從ひ日夜社業に盡瘁せられつゝある社員諸氏の辛勞に對し深甚の謝意を表すると共に愈よ其の使命の重大なるを惟ひ一層奮勵努力せられむことを切望して已まず

右特に訓諭す

總裁

武部理事歸任

滿京中の滿鐵理事武部治右衞門氏は二十一日午後二時十分のあじあで離京した

ソ聯清黨工作
又復廿四名銃殺

【モスクワ廿日發國通】スターリン書記長のトロツキー派清黨工作はその後も引續き行はれてゐるが、A・P通信社の報道によれば、廿日更に二十四名が極東鐵道ウオロシーロフ・ウスレスク線破壞を企てた廉をもつてハバロフスク地方裁判所において叛亂罪の判決を受け銃殺されたといはれる、更に聯邦水運人民委員部次長エドワルン・ローゼンター氏はこの程罷免され、後任にゲオルギ・クフロフ氏が任命された、又ウズベツク共和國においては通商人民委員ワルサン・コクヂャイエフ氏が鐵道破壞の陰謀に加擔した廉で罷免されたといはれる

人事往來

着京

▲川人勝一氏（前警務司特務科長）廿日來京帝都ホテル
▲鈴木精一氏（東京建物會社々員）同
▲廣木精逸氏（東和商事會社員）同
▲辰村米吉氏（請負業）二十日來京國都ホテル
▲杉山宗十氏（同）同
▲內匠政夫氏（滿洲砿金）同
▲古賀光氏（醫師）同
▲北林惣吉氏（ハルビンセメント）同
▲岡本昌氏（メリヤス商）同
▲河添千年氏（日滿商事）同
▲寺澤滿氏（同）同
▲尾家文郎氏（同）同
▲春山茂氏（同）同
▲田代正夫氏（日本タイプ）
▲遠藤隆氏（同）同
▲光岡清氏（日滿商事）
▲岸良隆氏（同）
▲黑田修三氏（滿鐵）同

出發

▲平泉澄氏　二十日發ハルビンへ
▲粱井淳二氏　同奉天へ
▲町田義和氏　同チチハルへ
▲吉澤次郎氏　同ハルビンへ
▲朴重陽氏　同
▲村瀨文雄氏　同奉天へ
▲堀內竹二郎氏　同ハルビンへ
▲石川忠三郎氏　同營口へ
▲岡崎虎雄氏　同

その日

□北支の夏草茂る原野の上、わが正義の砲聲とどろいて眼醒むるもの幾許

□盧山から、南京から、强硬放送は續いても、無理が通る道理はない

□諭告あり、聲明あり、佈告あり、しかして民心萎縮あるべからず

□長城の彼方の胡歌悲調を、この國の民衆の平和讃歌をもつて壓倒せよ

□水泳の選手たちを送り、土俵の超人たちを迎へる、日本的なるもの仰いで見るべし

白い天使（四六）
林房雄作　吉田眞里畫
（禁上演上映）

救ひ（二）

あの青年——スポーツ・ランドの

しかし、すぐにそれが思ひちがひであることがわかつた

なるほど、あの青年にどこかに似てはゐる。

だが、高價な秋の服をきちんとつけて、全身みがきあげたやうなその紳士は、スポーツ・ランドの彼とは、ひとまはりほどもちがふ年輩で、恰よく、しかし瀟灑に、すらりととほつた鼻筋の下には氣どつた口ひげさへついてゐた。

『ぼくを、おぼえてゐますか……』

思はせぶりに微笑する紳士の顔をあつけにとられながら弘子はみなほした。

スネーク・ウッドといふのであらう、しぶい赤地に黑い斑文のあるステッキに金かざりのついたのに皮手袋につゝんだ、華奢な兩手をのせて、紳士はすらりとしたからだを弓なりにそらしてゐた。

『ぼくですよ——田中……福井の食堂で……』

『あ』

思ひだした。

あの食堂で、女の店員たちのあひだに有名だつた。

『おしやれ社長！』

いつも、油壺からでてきたやうな、てらてらした身なりをして、女にひどく親切だといふ。

うわさのある社長。

女店員の中には、映畫俳優あつかひにして、わいわいさわぎたてるものもあつたが、弘子はたゞ顔をおぼえてゐるだけで、べつに心にとめてはゐなかつた人だ。

その人から、こんなところで話しかけられようとは——

しかも、その人が、自分の名前までおぼえてゐようとは！

『ぼくは、あなたをさがしてゐたのですよ——急にあなたがあの食堂からゐなくなつたので、まつたく光りがきえたやうな氣持になりましてね……』

『はあ』

といつたまゝ、口ごもつた。

いふことが、ますます意外なので、なんと答へていゝかわからなかつた。

（光りが消えたやうな氣持になつた）

——そんなことをいはれると、何だか、戀愛でも持ちかけられてゐるやうな氣持がして、いくらか薄氣味惡いものに、傍へ寄つて來られてゐるやうな氣持がするのだつた。

しかし、また、現在の自分の境遇を考へると、たとへ、薄氣味惡いものでもよい、そばへゐて、慰めて貰ひたい程だつた。

田中のうそのつきぶりは、まつたくなめらかであつた。

さがしてゐるもないもあつたものでない——弘子を計畫的に失業させてこのかた、ずつと人をつかつてかの女を見張らせてゐたのだから。

一ケ月がたつて、弘子の生活がどうにもかうにもうごきのとれなくなつたころをみはからつて、豫定どほりに姿をあらはしたにすぎない。

今日も弘子がひとりで隅田公園の方にでかけたといふ知らせを、見張りの男から電話されたので、さつそく車でのりつけ、いかにも散歩のついでといふ風に、ぶらりとかの女のそばにあらはれたのではないか。

だが、弘子としては、そのからくりを知らうはづはなかつた。

思ひがけない人の、おもひがけない言葉に、おどろかされて、なぜかはしらぬはづかしさに、ぼつとほゝをあからめたほどであつた。

『じつは、あなたが福井の食堂を首になつたのには、いくらか、ぼくにも責任がありましてね』

二十二三兩日 第二次準備演習

＝新京統監部發表＝

新京管區防空演習は二十二日午前六時から二十三日午前八時に至る間大々的に實施せられる、國都の各防護團、並びに一般市民はさきの準備防空演習によつて體得した貴重な經驗を基とし、なほ一層精勵國都防備の完璧を期し、各地の模範となる様期さなければならない、演習各項に對する注意は次の通りであるが、なほ午後十時新京放送局より統監部志生野大尉より演習全般の注意に關する放送あるはずラヂオ聽取者は想定その他重要事項發表せられるにつき、スキッチは入れ通しにされたいと

一、演習の目的

全滿防空本演習に參加すべき新京管區內防護部隊各機關官衙會社、諸團體その他官民全部に對し防空通信、燈火管制、警報傳達ならびに防護等の科目につき綜合的訓練を實施しその防空能力を向上せしめ且つ防空施設の良否を點檢しもつて全滿防空本演習の準備を完了するにあり

二、演習期間

概ね七月二十二日午前六時より二十三日午前八時までとす

三、演習實施要領

イ、演習參加部隊、參加地方團體及び防護團等は別に示される想定に基き準備體制を整へ防空司令下令とゝもに各々防空配置につき演習を開始す

ロ、爾後新京統監の運用する假設の敵飛行機及び時々與へられる情況に基き前項三ヶ團體及び官民は實踐的動作をするものとし二十三日午前八時頃演習終了、命令によつて演習を終了するものとす

ハ、新京市においては演習終了後午前十時より大同大街西公園前廣場を中心地として參加團體の閱兵分列を行ひ午後二時より各指導委員に對し軍人會館において講評を行はる

四、教令

イ、軍用機及び航空會社機を以て假設敵飛行機となし、別に標識を附せず

ロ、飛行機上より發射せらるゝ拳銃信號、綠三ッ星は爆彈投下の狀況を、又赤つり星は燒夷彈及び瓦斯彈投下の狀況を示す

ハ、敵飛行機の投下彈落達狀況は左の如く現示し且つ所用の假想被害人馬を示す

燒夷彈による火災瓦斯……發煙筒及び催淚筒

一時性瓦斯彈……黃剸現示

持久性瓦斯彈……持久等別にテープのみにて撤毒地域を示す事あり

ニ、被害人馬として指定せられたるものは指導員の交附する標札に記載しある如く動作するものとす

ホ、統監部用自動車には所定の標旗を立て夜間は前哨燈に絲の布を附す

五、危害豫防及び禁制

イ、催淚筒及び發煙筒は人馬を去る十米內に、又黃剸現示筒は同二十米內に於て點火投擲することを禁ず

ロ、演習部隊及び市民は猥りに狀況現示材料を除去するを得ず、又消火に當りても狀況現示用發煙筒等に對し直接消火材料を投ずるを禁ず

ハ、脂油類貯藏所等危險なる場所の附近に於て發煙筒その他發火する現示材料の使用を禁ず

ニ、催淚筒を使用する場合には軍部指導委員指導の下に附近住民に催淚筒の性質を諒解せしめたる後使用すべし

六、注意

イ、晝間の空襲に對し、各家庭に於てなさるべき處置及び動作、即ち空襲時に於る上空見張り、防毒消火避難の準備等を實際的に行はれたし

ロ、日沒時警戒管制に入る際は別に警報は發せられざるにつき、午後八時卅分を期し各戶に於て確實に實施されたし

ハ、時局柄演習のため發せられる諸情報等實際の情報と混同し、人心に動搖を來すが如きことなきやう注意せられたし

演習終了後 大閱兵式

二十三日午前八時新京管區防空演習終了後國都防護團關係を總動員する大閱兵分列式が午前十時から同十一時三十分に至る間大同大街關東局分館前より大同廣場に至る間に於て盛大嚴肅に擧行せられる、參加團體は在鄉軍人一千名、首都警察廳二百五十名、聯合防護團三千名、官廳特殊防護團千六百名、その他防護團百五十名、總勢六千名に達する近來稀なる大分列式にて、各團とも防毒マスク等を全部携行し、總指揮官小野高吉步兵大佐副官菅澤直記步兵大尉によつて小松原統監の閱兵を受けることゝなつてゐる

非常管制下の追剝遂に捕はる

前科六犯の强かもの

新京署井上刑事の殊動

去る十六日午後九時國都を擧げて非常管制が布かれ暗黑と化し市民は張り切つて警察官防護團完璧の警戒陣に緊張の折柄闇に乘じて北安路康平街路上に於て刑事を裝ひ鐵道北三不管石炭運搬夫鳴舜(二二)を襲ひ十二圓七十五錢を强奪した不逞漢があつたが其後捜査中のところ二十日午後一時西四馬路三一號古物商篤寧宇方に身分不相應の卷繪を賣却に來た擧動不審の男を折柄張込中の新京署井上刑事が逮捕取調べたところ撫順北大街五三號魯永陸(三十二)で右犯行を自供した

犯人魯は詐欺橫領前科六犯を有し去月九日新京監獄を出たばかりの不逞漢で嚴重なる取調べに十八日午後一時錦町三丁目路上に於て城內西四馬路古物商文雅齋方珠品玉の繪卷價格二百六十一圓四十錢を强奪したことを始め外十數件の犯行を自供した【寫眞は犯人】

協和會館落成記念 協和の夕開催

廿五日から三日間

協和會中央本部宣傳科では、協和會創立五周年と協和會館新築落成を記念し來る廿五日より廿七日迄每夜午後六時から新築會館講堂で「協和の夕」を開催するが、プログラムは次の通り

(一)開會の辭(中央本部宣傳科長 呂作新)

(二)奏樂(新京軍樂隊)第一部(指揮軍樂中尉 王殿陞)一、日本國歌、二、滿洲國歌(全員起立合唱)三、皇帝陛下訪日記念日滿交驩歌、四、行進曲「關東軍」五、意想曲「更生」六行進曲「湖船」第二部(指揮軍樂上尉 山田慶藏)一序曲「生活の樂しみ」二、意想曲「名譽の勳章」三、行進曲「威風堂々」

(三)舞踊、(1)日本舞踊(藤間勘喜久門下)第一日イ、紅傘日傘(早良富美子岡田明子)ロ、鶴龜(藤間勘喜久)第二日イ、飛梅の賦(桐幸子)ロ、近江のお兼(加藤昭子)ハ、藤娘(佐藤和子)

(2)朝鮮舞踊、第一日朝鮮舞踊「僧舞」(田晉全、伴奏四名)第二日、獨唱(鄭玉成)(伴奏白鳥會音樂部員)イ、梁山道、ロ、白打鈴、ハ、アリラン、第三日朝鮮舞踊(李啓白)

(3)滿洲舞踊、イ、鐘馗(羅王文九人)ロ、賣油條(高澤岩等九人)ハ、伴奏員(董笑天等八人)

(4)ロシア舞踊、一、南ロシア童謠舞踊(スコデーヴァ)マウオロシスキダンス(ラスボビナ)二、ボーヤールシナダンス(ルコフスカヤ)三、ルスキーダンス(ヴアリオ)(伴奏インペリアルヂャズ、ピアノ、ヴアキナ、バイオリン、ローストミアンズ、ドラム、バラーノフ)(休憩十分)

(四)演劇(滿洲演劇研究會園)(1)日語劇(板垣守正作)「國を造る人々」(二景)脚色並に演出藤川研一(村長孫福祿—藤川研一、

東京相撲一行 新京入り

△東京相撲一行新京入り、廿二日より四日間東京相撲滿洲本場所が行はれるが、双葉山玉錦の一行三百餘名は廿一日午前九時十五分新京着一行は三班に別れ双葉、玉錦、清水の一行廿餘名は直ちに新京陸軍病院へ慰問に向ひ午前十時忠靈塔に參拜した【寫眞は參拜の玉錦、双葉の一行】

滿人女の變死體

二十一日午前十時三十分ごろ特別市豐樂路門牌二號空家の土間に年齡三十歲前後滿洲人女の變死體あるのを附近の者が發見最寄りの派出所に屆け出た、首都警察廳及び所轄大經路署より係官が現場に出張檢視の結果死後二晝夜を經過しており外傷なく病死體と判明したが身元其他一切不明である

遺書を殘し家出

本籍神戶市林田區駒ヶ林町三ノ二現住所平安町郵便局官舍大江義市(三六)は十九日零時半遺書を殘して無斷家出行方不明のため自殺のおそれあるので捜査願を領警署に屆出でた

施錠せず盜まる

新發屯北胡同一〇一有田ビル一六號管秀夫氏は二十日午前八時より午後八時に亘る間不在入口無施錠で外出中三つ揃背廣服一着、茶色多オーバー時價計五十圓を何者かに竊取され盜難屆出でた

(鐵道從業員秋山—田村要、娘—中村米子、老工人、崔青年—島田義雄、村人—金井武二、村民一—三原保、村民二—杉村信、村民三—橫田士郞、匪賊多勢)(五)映畫「一條の灯」(ワーナーナショナル映畫)

馬車夫の惡事

山東省生れ東三道街門牌五十一號馬車夫王奎德(三十四)は馬車夫に似合はず最近金使ひが荒いのに目をつけた首都警察廳孫刑事が二十日夜同人を自宅から引致取調べると去る十二日乘客が車上に遺失した金側腕時計(四十圓)を橫領、東三馬路某質屋に入質して遊興に費消してゐたもので遺失物橫領罪と餘罪取調中

葵自動車從業員 五十圓を獻金

本社を通じての愛國の熱誠

本社に寄託されつゝある、北支事變恤兵獻金は旣に六百圓に達せんとしてゐるが、熱烈なる國都市民は事態の急迫に伴ひ、なほ續々應募せんとしてゐる、二十一日午前中には葵自動車株式會社新京出張所員一同から金五十圓の申込みがあつた、本社では午前中の分は同日午後、午後の分は翌日とりまとめ、直ちに關東軍司令部副官部宛獻金手續を終了してをり、當局より市民の熱誠に對して大いに感激を示されつゝある、なほ受領書は軍當局よりそれぞれ本社宛送達されつゝあるから、必要者は本社に出頭受けとられたい

一、五百圓、中央ホテルマル館主 松原

一、二十二圓五十錢、三笠町朝日館滿人從業員一同代理 中桂華

一、二千圓、新京石炭商組合員一同代表 松茂洋行

一、百六圓、滿鐵鐵嶺區工場員一同 代表永島直吉

一、千六百七十六圓 電業社員一同代表 中村繁次

一、二百圓、滿洲行政學會從業員一同代表 新井錬三

一、四十圓、丸三興業株式會社社員一同 堀正一郞

一、八圓八十七錢 錦ヶ丘高女有志一同

一、慰問袋二百個、雜誌百七十個 市立醫院職員一同

可憐!祖國の子ら 街頭に呼掛く

八島校五兒童の獻金佳話

北支事變は少國民にも愛國の至情を喚び起し獻金者相踵いでゐるが八島小學校六年生富樫肇、番場貢一、谷位忠男、眞鍋照正、古光義幸の五君は何んとかして北支に生命を堵して活躍する皇軍を慰めたいと協議の結果二十日午後七時より十時の間新京銀座の街頭に進出して通行人より醵金を受け二十七圓二十五錢を集め直ちに新京署を訪れ皇軍慰問金として寄贈した、尙同君等は今後も每夜この計畫を繼續すると非常な意氣込みでゐる

□

北支恤兵獻金はその後引きも切らず二十一日關東軍司令部に到達せるものは次の如く當局を感激せしめてゐる

一、百圓、中央ホテル從業員一同代表松本基之同

一、五十圓、中央ホテル 松原政太郞守

五映畫館から 一千餘圓

新京キネマ、豐樂劇場、朝日座代表岸本朝次郞氏、長春座代表湯淺長四郞氏、帝都キネマ代表代田幹三氏は二十一日午前九時新京署警務係を訪れ時局に鑑み國防獻金の一端にもと三氏共同で金千圓を寄贈した尙各從業員からは皇軍慰問金として五十二圓七十五錢を寄贈したが內譯は左の通りである

▲八圓二十錢、新キネ▲六圓九十五錢、朝日座▲十六圓、豐樂劇場▲十二圓五十錢、長春座▲九圓十錢、帝都キネマ

國防獻金に 四十萬圓

小布施氏美擧

【東京國通】昭和六年滿洲事變に際し燃ゆる愛國心からボンと三十萬圓を投出し愛國獻納運動のトップを切つた東京日本橋の株式問屋小布施新三郞(六五)氏は今回の北支事變に當つて再び私財四十萬圓を投じ戰鬪機四、偵察機二の愛國機六機を獻納することになり廿一日陸軍省へ右資金獻納の手續をとることになつた

首都警察廳 警佐級異動

首都警察廳では先般の人事異動に伴ふ警佐級異動を二十日附を以て二十一日次の通り發表した

特務科特高股長 警佐 堤 金錄

特務科特務股長を命ず

警務科教養股長 警佐 坂野興一郞

特務科特高股長を命ず

外務科勤務 警佐 石川武雄

外務科亞細亞股長を命ず

時務科勤務 警佐 劉 勇

外事科歐米股長を命ず

衞生科衞生股長 警佐 佐藤敬止

警務科規畫股長を命ず

長通路署警務主任 警佐 神谷利平

衞生科衞生股長を命ず

司法科勤務 警佐 久川綱義

長通路署警務主任を命ず

外事科勤務 警佐 金 學聲

特務科勤務を命ず

警務科警備隊副隊長 警佐 西 政義

警務科警備長を命ず

田中弘之氏歸京

滿鐵新京支社地方課長から滿洲國內務局經理科長に轉出した田中弘之氏は嚴父死去のため內地に歸省中であつたが二十日午後十時着ひかりで歸京した

修養團支部主催 婦人滿語講習會

修養團新京支部主催一般婦人のための滿語夏季講習會が北安路修養會館で七月中旬から八月下旬にかけ每週水曜と火曜に開講する、時刻は四時十分から五時四十分まで、講師は早大法學士產業部理事官賀嗣章氏、會費不要

慶應大勝

對滿洲國戰

10A—2

慶應新人軍を迎へての第三戰對滿洲國野球試合は二十日午後四時廿五分より西公園球場に於て孫(球)伊藤、片岡(壘)三氏審判のとに滿洲國先攻で開始された、全滿を代表して內地に遠征する滿國軍門出の一戰が人氣を呼び雨スタンドは超滿員の盛況照らず降らず絕好の天候グランドの調子もよく如何ばかり接戰を演ずるものと豫想されたに二回目裏慶應の攻擊に於て二死後滿國遊手佐々木君の失策をきつかけに古岩井、橫內等タイムリーエラーの續出に加へて慶軍好打し六點と云ふ大量點を與へ三回にまた三點を與へいよいよ開きを大きくした滿國軍四回に二點を復したが以後打擊更に振はず失策多く遂に十A對二の差で敗れた

スコアー

滿	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
慶	0	6	3	0	0	0	1	0	A	10A

睡眠を搖り動して 素破非常召集

八島小學校の暑休訓練

夏のお休みで小學校兒童たちは朝もゆつくり寢てゐた廿一日午前七時前八島小學校々外自治班では〃山下君午前八時半までに非常召集だ〃〃川上さん早く起きて八時半までに學校に集れつてよ〃と隣から隣へ傳達班はかけ廻り電話で連絡あり全通學區域には非常訓練召集傳達が傳つた、吃驚仰天、時局柄びんと跳ね起きた兒童等は何事が學校に起きたかとお友達を誘ひ合はして學校、學校へ、と馳せ集つた召集時刻の午前八時半までに登校した兒童數は七百四十二名、先生七名、兒童は無論、諸先生も非常召集は豫測してをらず、不意打ちを喰つたは兒童先生方ばかりで知つてゐるのは校長先生、及び宿直先生の四五名であつた、校庭に集つた兒童は非常時局のお話を校長先生に聽き同五十分から北支駐屯軍の武運長久祈願のため新京神社參拜、一旦學校にかへつて校內淸掃をやり同九時半下校した、下校の際は非常訓練の規則によつて各班別に班長が引率して自宅にかへる訓練を實施した

東京大相撲 新京初日取組

東京大相撲の新京場所は廿二日より四日間開催されるが蓋明け中入後の取組は次の通りなほ稽古開始は每日午前七時取組開始は午前十一時、打出しは午後六時頃の豫定である

東

三番金楯神幡國巴小名綾桂富玉

熊神　威瀬　島寄　ノノ

山山湊甲山川光潟川岩錦川山海錦

西

羽大磐八星源土小海天清小双旭

黑八　幡氏州松光城水戶葉

　　　　　　　ヶ

山浪洲石錦甲山山山川山岩川山川

不在中忍ぶ

特別市七馬路永康莊二四大野作平氏方へ二十日午後三時より八時三十分に亘る間不在中を奇貨に何者か侵入、六疊に置いた洋服ズボン二着時價二十五圓を竊取され領警署に屆出でた

あす(廿二日)

▲防空演習
▲東京大相撲新京場所第一日
日日毛前
▲滿鐵夏季大學午後三時より西廣場倶樂部

○今晚の主なる演藝放送○

▲八・〇〇合唱と吹奏樂(東京)大日本聯合合唱團外▲八・三〇淸元吉野山道行初音旅(東京)淸元よ壽太夫外▲九・〇〇連續科學小說「地球盜難」(東京)江川宇禮雄外

ラヂオプロ變更

後七、三〇講演、二十二、二十三日兩日に亘る防空豫行演習に就いて 新京統監 陸軍少將 小松原道太郞

二十一日家庭防空講座放送者變更、防空演習に伴ひやすい警察事故 瀋陽警察廳 伊藤角太

盜電防止懸賞募集 入選標語發表

應募篇數 日語一、二四三篇 滿語八六六篇 合計二、一〇九篇

一等 一篇 三十圓(商品券)

使ふ電氣は屆けた上で

新京專賣總局燃料科 柴田賢二氏

二等 二篇 二十圓(同)

盜得電萬丈、不如方寸亮

新京東四馬路一〇八 王 祥 氏

正しい心に輝く電氣

成鏡北道警察部保安課 尹 載 奎氏

三等 三篇 拾圓(同)

花錢安電燈、人物兩光明

新京大經路南級小學校 朱 炳 元氏

正しい光に明るい心

西安縣城滿月胡同 金子喜彥氏

屆けた電氣明るい我が家

新京淸和街六〇四牧本方 白石貞夫氏

佳作 十篇 參圓(商品券)

電氣は屆けて無駄なく使へ

新京露月町三の五九の二 淸武ミチヲ氏

電有危險、損人不利己

新京西四道街第二中央宿舍東隅壁四〇 李 鑄 軒氏

屆けた電氣明るい氣持

新京入船町阿川ビル二 久保田復雄氏

盜電是領導家中兒童行竊之始

新京大經路不通胡同二 馬 王 書氏

盜用電光臉上無光

新京東三馬路振興東院內 王 桂 森氏

正しく使へば明るい電氣

新京同光胡同三〇四中恭行寓 緒方ミツ子氏

屆けた電氣明るい電氣

新京豐樂路七〇九 中 擬 守氏

一家盜電、萬家滅光

新京水仙町二ノ二四 王 述 仁氏

一戶の盜電萬戶の迷惑

新京朝日通五ノ一アサヒ自轉車商會 濱村千鶴子氏

正しく電化輝く文化

新京同光胡同三一一 松井吉國氏

註

一、一等に該當すべき秀篇ありたるが最近日本內地に於て募集せし際一等に入選濟なるため特に之を除外す

二、「一戶の盜電萬戶の迷惑」は同句四篇ありたるため警察官立會の上抽籤決定す

演藝上半期覺書 (4)

天野光太郎

毎年カフエー組合でやる演藝大會が今春はなく、その代り師匠の松之助と弟子の藝達者が五色會といふ名前で、五三十一日から六月一、二日にかけて、お芝居を演つた。「白石噺」「引窓」「御所櫻」など並べて、素人離れし藝に滿場を唸らした。興行成績の思はしくなかつたのは宣傳に欠陥があつた爲と思はれる。一度で閉口悪れぬこと五日に新京最初の琵琶の大會があつた。此頃餘り揮はぬ琵琶界に取つて結構な企てだつた。八、九日が漫才王横山エンタツ、昨年來滿の節は至る處歡迎されたのに、獨り新京丈けはまるつきり受けず、頭を傾けさせたが、今年は打つて變つた大人氣で二日共滿員新京人もやッとエンタツのユーモアが解るやうになつたとはめでたし。十三日がレート化粧品宣傳の映畫と舞踊會、只程安いものなく無論滿員。十四、十五日が朝鮮劇團星座金永煥一行、成績は香ばしくなし。尙西廣場でも八、九日に朝鮮劇靑春座が掛つた。十八、十九、二十日は浪曲壽々木米若、今や人氣の絶頂で、直ぐ目先きに控えた松本幸四郎の前景氣にも押されず、堂々三日間を滿員して凱旋したのは流石に偉い。

廿三、廿四日が本年最大の豪華版松本幸四郎の一行、會場は西廣場で花道や大道具を全部新調して、新京では最善の舞台効果を期した。幸四郎の「勸進帳」が人氣を呼んで九圓の木戸で初日滿員二日目八分の入り、一昨年の羽左衛門以來の成績は流石だと言える。續いて廿五、廿六日は公會堂に戻つて女流浪曲京山華千代、巴うの子合同一座、入りは普通。二十七日が淸元延寅子の淸元溫習會で、春の溫習會の最後を花やかに飾つた此外に豐樂劇場に新京最初の外人ショー、ハリウッドレヴューの來たことも逸してはならぬ。

○

以上を總括して、上半期の收獲は、劇では高麗屋松本幸四郎を筆頭とし、次で中山延見子少し如何かと思ふが伏見直江、信子姉妹も加えて置く浪曲では壽々木米若、木村友衛の二人が動かぬ所。漫才では横山エンタツ。音樂では提琴王エルマン。アクロバチックダンスの岡本八重子も一度は見て置いてよかつたもの。土地の長唄淸元の溫習會の盛んだつたのも嬉しい現象として特筆して置かねばならぬ。此處まで書いて、未だ哈爾濱交響樂團の演奏、市民音樂會の公演、其の外西廣場を會場としたもので、覺書に洩れてゐるのがあることに氣が付いたが、其處までも眼が庭かぬから御免下さい。

漫談、物語の第一人者 里見義郎來演

無聲映畫を伴奏附て說明

「活辯」華やかなりし頃、と言ふとひどく古めかしく聞えるが、現在二十代の若い映畫ファンの僅かな追憶の中にもその頃の愉しい耽溺の世界を想ひ出すのに苦しまないであらう、當時關西映畫解說界の第一人者として大阪道頓堀松竹座にあつて數萬のファンを唸らした里見義郎の名も賢名な映畫ファンの追憶の中には大きな存在となつて忘れ得られずにあるに相違ひない、現在彼はテイチク專屬として漫談、文藝物語りその他の吹込みによつて、又はラヂオ放送等により着々として新興特殊藝術への彼の新しい足跡を印しつゝあるのであるが、今回再び渡滿を思ひ立ち八月上旬三年振りで國都を訪れることゝなつた

得意の漫談、文藝物語り以外に、往年の活辯華やかなりし頃を偲ぶ意味で無聲映畫を一本掲げて彼特有のロマンチツクな美文調による映畫說明を公開する筈で、主催者側では更にこの催しを意義づけるためにこれに對して洋樂伴奏を附し曾ての映畫館における古典的演出をそのまゝに再現せしめることゝなり、映畫ファンの感懷に浮ぶ美しの夢に最上の色彩を添へることゝなつた

尙この他に、この催しを機會として在京映畫解說者有志の應援參加も豫定されてあり、プログラム、日取り、その他の詳細は追つて發表されることになつてゐる【寫眞は里見義郎】

▽▽兄いもうと△△

PCL作品、昭和十年度の文藝懇話會賞をとつた室生犀生の原作により江口又吉が脚色木村莊十二が監督に當つた作品である、竹久千惠子丸山定夫、英百合子、小杉義男、大川平八郎、堀越節子等が主演、兄弟愛の異常な心理を描いて文藝と映畫の近密な接觸を實現した劃期的な作品、所謂文藝映畫の隆盛と共に日本映畫にもどうやら「大人の映畫」が數へる程に出來始めたことは嬉しいことである、キネマ旬報昨年度ベストテン中第七位作品、豐樂劇場廿二日再上映

さぼてん

美人座の葉子さん、酔へばタンカの一つも切らうと言ふ位法肌の女だが、眞實は仲々の妹思ひにガッチリのしまり家である、妹二人を一人前に仕立てるために長春時代からのタイピスト嬢に仕上げ、某官廳に勤めさしたが次はお嫁さんの心配▼「サボテン子などにお嫁にやるもんか」とゑらく弱き者を毛嫌ひしてゐたがこの程念願叶つて一人は内地に一人は現地滿洲國官吏にとよき縁談纏つてそれ〴〵晴れの輿入をした▼どこまで妹思ひの葉子さんか、妹の晴れの盛儀とあつて財布をはたいて五百なにがしと言ふ大金をその仕度金に投げ出してやつたとかさて肩の重荷をおろした葉子さんお次はあんたの番ですな

雑音

新興溝口健二の「愛怨峡」はあすから銀キネにフオックス「ロマンス乾杯」「水戸黄門漫遊九紋龍の長次」と組んで登場する▼東京大相撲に眞つ向からぶつかつてゆく意氣は旺んなりと言ふべし▼長春座は同じくあすから「白き處女地」に「丙嘶丑滿刻」「仰げは尊し」これに夏向きの「大海の怪魚」を加へた四本立、これと言つて呼びもののない番組、專ら量でハル趣向である

一般貨物の輸送に影響與へぬ方針

事變に際し大村總局長聲明す

【奉天國通】最近特產物その他一般物價が著るしい昂騰を示しつゝあるは北支事變勃發に伴ひ、軍事輸送の鐵道總局輸送機關が動員され、從つて一般貨物の輸送は停頓を餘儀なくされる結果によるとの說が流布され全滿經濟界を動搖せしめるが如き傾向あるに鑑み、鐵道總局では廿日大村鐵道總局長が談話の形式で左の如く發表をなし、その事實無根なることを明確にした

最近における物價昂騰の結果として今回北支事變のため滿洲における特產物その他の輸送能力逼迫をつげる向があるやうに聞き及んでゐるが、會社は今回の北支事變の爲には人的、物的設備の充實を計畫、一般貨物の輸送には極力影響を與へない方針で進んでゐる、最近社線方面で遲延承知の特約を願つてゐるが、之は時間の推移に基き萬一を慮つて現場として萬善の策をとつてゐるものであつて、最近の貨物輸送概況をみるも一般營業貨物持込發送、構內在荷の狀況を前年同期に比較するも持込噸數が相當增加せるが發送噸數もこれに伴つて增し、構內在荷は漸く一日分の發送數量を維持せるにとゞまる實情で、混保の出荷に對して情勢に別段の變化なき限り責任をもつて行ふ決意がある、故に地域的に多少の一時的貨車配給遲延等はあるかも知れぬが、北支事變による一般營業貨物輸送力は逼迫してゐない、從つて輸送力の逼迫が最近に於る特產物その他の物價昂騰の主なる原因であるとの見解はあたらないと思ふ

南京政府では金融統制着手

―河北行糧食も統制す―

確實なる筋への報道によれば南京政府財政部は北支事變の對策として支那財界の中樞たる上海における銀錢業公會、市商會ならびに取引所に對し金融界を攪亂するものは嚴重處罰する旨緊急訓令を發し戰時金融統制に着手すると共に他方last に設置したる糧食委員會をして河北行糧食に對し軍用機關又は市商會の證明を必要とする旨決議せしめた、南京政府の斯く如き戰時計畫の實施は廣西軍に對する北上擁護と共に注目される

硫安	一、	四二九
採油用原料		五八九
自動車及同部分品	一	三三三
油粕		九八四
小麥		三七〇
揮發油		五六五
銅	二、	九二四
麻類	一、	七七九
砂糖		三八七
その他	一八、	三六九

滿洲國關稅改正に實業協會運動

―朝鮮側とも相提携して

日滿實業協會東京本部では滿洲國の第三次關稅改正期を控へ今回改正を要する事項を徹底的に調査研究しこれが改正の促進を圖るべく朝鮮の要望も研究し相連携して滿洲國の善處方を要望することとなり書面をもつて朝鮮貿易協會にこれに對する回答を求めて來たが朝鮮貿易協會では二十五日迄に左の指定項目に對して回答を發送することゝなつたしかして滿洲國の第三次改正に對する內鮮兩地の要望は愈よ全面的に運動開始されることゝなつた

一、滿洲國現行關稅制度中改正を要すると認める事項

例へば特惠關稅、互惠關稅最惠國條款等に關する希望意見、從量稅、從價稅、課稅商品の分類、課稅標準たるべき商品價格の評價方法保稅倉庫營業規程、保稅運送規程等に對する改正意見

二、滿洲國現行關稅率表中稅率改正を要する品目に改正希望稅率

三、通商手續の簡捷その他關稅取扱上改善を要すると認むる事項

絹織物	二、	五八八
莫大小製品	二、	〇九五
毛織物	一、	七七五
植物油	一、	二一二
陶磁器	一、	一六一
鐵製品	一、	四九九
綿織物	一、	二七四
玩具	一、	三三九
人絹糸	一、	〇五六
紙類	一、	二〇三
木材	一、	〇九八
精糖	一、	〇七五
帽子	一、	八六九
小麥粉	一、	一七一
その他	二九、	二〇八
△輸入		
棉花	三〇、	八六四
羊毛	五、	三〇〇
鐵	一九、	二一〇
原油及重油	四、	五七六
機械類	二、	七二二
豆	一、	〇九六
生ゴム	二、	一六八
パルプ	二、	一二六
木材	二、	四八三
石炭	二、	〇〇二
銅	二、	〇五二

七月中旬の對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表＝七月中旬對外貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	八八、	九八六
輸入	一〇八、	〇〇二
合計	一九六、	九八八
入超	一九、	〇一六
一月以降累計入超	七〇二、	七二七

なほ重要品輸出入額左の如し

△輸出

綿織物	一四、	〇四八
生糸	一一、	二七七
人絹織物	四、	四九四
鐵	二、	七九〇
機械類	四、	〇〇八
罐瓶詰食料品	一、	七〇七

支那銀行貸出を停止

北支事變は支那側の不誠意極まる態度により前途の豫斷を許さゞる混沌狀態にあるが、當地に達した確報によれば、北支民衆の動搖は漸く顯著となり、南京政府に對する民心の離反的傾向はさらに擴大深刻化しつゝある事が明かとなるに至つた、即ち從來排日的言動をなし盛に無辜の民衆を煽動しつゝあつた支那官吏ならびに中堅市民の家族は民心の動搖、離反的風潮の擡頭と同時に續々上海、濟南方面に引揚げつゝあり、同時に支那側銀行の預金は相次いで上海香港の外國系銀行に預替へられ、既に青島のみでその額千七百萬元に達したゝめ銀行は全く貸出を停止し取引所、交易所は殆ど停止狀態に陷り、一般商取引も紙幣暴落を豫期して一時的反動的活況を呈してゐるが、その間に暗躍する奸商の策動は惡辣熾烈を極めために經濟事情に盲目なる一般民衆は困惑の極に達し、事態の推移如何によつては金融經濟の全面的破局を現出するやも知れず、成行頗る注目されてゐる

在滿各調査機關の綜合案進捗す

滿洲國內產業の開發に伴ひ之と重要關聯を有する產業調査機關の整備充實は目下の急務なりとし關係者間に種々研究が進められて來たが最近に至り在滿產業調査を打つて一丸とした强力なる機關の設置案か擡頭し着々實現の機運に向ひつゝあり注目を惹いてゐる即ち關東軍、關東局、滿洲國滿鐵、中銀、興銀、其他關係各機關の產業調査關係者が數次に亘り協議の結果これ等關係部局を綜合して資金約三百萬圓の財團法人滿洲產業經濟調査局を設立し以て調査の中樞機關たらしめんとする意見の一致を見るに至り近く之が實現に向つて積極的乘出す事になつた模樣である、同機關は啻に產業調査資料の蒐集に力を注ぐのみならず關係機關の融和業務の調整指導をなさんとするとので之が實現は大いに期待されてゐる尙之と同時に東京に本部を有する東亞經濟調査局を解消して滿洲に移し之を新設機關に合流せしめゐてとも考へられて居り恐らく實現されるものと期待される

青島諸銀行取付けに遭ふ

【青島廿日發國通】中央、交通、中國の三銀行青島支店は十九日以來小口預金の引出、取付けに遭ひつゝあり、又財界要人ならびに從來抗日宣傳に狂奔してゐた札付き反日分子の家族連は、廿日來續々上海方面へ引上げてゐる

土建ニュース

▲牡丹江日人局宅排水管布設工事 ●鐵路局
落札 三千八百四十四圓六十六錢 長谷川工務所

▲牡丹江新藥用度倉庫給水設備工事
落札 一千百圓 長谷川工務所

▲牡丹江獨身宿舍新築工事
落札 六萬圓 大林組
六一、四〇〇、〇〇 高岡組
六三、五〇〇、〇〇 鹿島組
六五、一〇〇、〇〇 飛島組

▲牡丹江日本人小學校分室新築工事
落札 二萬六千六百二十八圓八十五錢 松村組
二七、〇〇〇、〇〇 大同組
二八、〇〇〇、〇〇 大林組

▲延吉明月溝間及敦化―明月間電話線新設工事 ●電々會社
落札 三萬九百圓 大連電業
四一、四四四、〇〇 滿洲電機
四四、四九一、〇〇 興亞電業
四四、九六七、〇〇 滿洲電氣土木
四八、八〇〇、〇〇 弘電社

▲牡丹江穆稜間電線新設工事
落札 一千四百八圓八十錢 東亞電氣
三三、六六六、〇〇 弘電社
一、四二八、〇〇 滿洲電氣土木
一、四四〇、〇〇 大連電氣
一、五五〇、〇〇 滿洲電機

▲平陽站平陽鎭牛載河間電話線新設工事
落札 三千四百八千圓 弘電社
二、一七六、〇〇 興亞電氣
二、三八〇、〇〇 東亞電氣
三、八〇〇、〇〇 東亞電氣
四、九六〇、〇〇 滿洲電機
四、五四八、〇〇 滿洲電氣
五、九六七、〇〇 滿洲電氣土木
五、〇〇〇、〇〇 大連醫業

▲梅河口電報電話局新築工事
落札 一萬四千八百圓 亞細亞工務所
一七、七八〇、〇〇 義合祥
一七、八五〇、〇〇 榊谷組
一八、一〇〇、〇〇 鐵嶺田中組

▲新京機關車庫日人乘務員宿泊所ペイント塗替工事 ●保線區
單獨 二千三百三十六圓三十一錢 滿洲塗裝

▲開魯林洮線新開河橋梁造工事 ●道路司
落札 一萬一千三百十圓 森本組
三五、〇〇〇、〇〇 東亞土木
三六、五〇〇、〇〇 鐵道工業
三七、〇〇〇、〇〇 昭和工務所
三七、四〇〇、〇〇 長谷川工務所

▲甘井子小學校講堂校舍增築決定工事 ●關東州廳
落札 二萬三千三百三十圓 萩組
二七、〇〇〇、〇〇 櫻町組
二九、八〇〇、〇〇 辻組
三三、五〇〇、〇〇 長谷川代次

▲ロシャ町埋立地內道路補裝修繕工事 ●埠頭保線區
落札 一千九圓六十一錢 池內市川工務所
一、〇六一、六九 白川洋行
一、〇八一、七四 長谷川工務所

▲南滿洲工業專門學校舊圖書室內部改造工事 ●大連工事々務所
豫特 百二十圓 坂本與一

▲夏家河子水明館外壁塗工事
豫特 四百七十二圓 小蛤安太郎

▲大連聖ケ浦小學校講堂並校舍增築工事 ●關東州廳
豫告工事
開札 七月二十八日 午前十一時

▲大連機關區構內西出庫點々坑延長工事 ●鐵道事務所
開札 七月二十一日 午前九時
齊々哈爾土建界

▲寧黑線興安拉哈間三八K附近間側線築提工事 ●鐵路局
落札 一千五百三圓五十錢 東亞土木
一、三三七、〇〇 岡組
一、六三三、〇〇 志岐組
一、五六八、〇〇 飛島組
一、六五〇、〇〇 志岐土木
一、七八〇、〇〇 東亞土木
十六錢 一千五百八十一圓 岡組

▲巴林站モーターカー庫新築工事
單獨 八百五圓 森本組

商況欄（七月二十一日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊 六磅一九志一片一
紐育金塊 三五弗
倫敦銀塊 一九片一六分三
同先限 一九片一六分三
孟買銀塊 五一留比一六分三
スチール株 一一九弗
アナコンダ株 五八弗四分一

▲市俄古小麥
七月限 一弗二一仙分一
九月限 一弗二二仙二分一
十二月限 一弗二三仙四分一

▲紐育棉花
現物 一二仙三六
七月限 一二仙一一
十月限 一一仙八六
十二月限 一一仙八二
一月限 一一仙八六
三月限 一一仙八六
五月限 一一仙八九

▲印棉
ブローチ 二〇八留比
オームラ 二〇一留比
ペンゴール 一六七留比

▲カルカッタ麻袋
青筋 二四留比八分一
鐵筋 二一留比六分三
英米爲替 四弗九六仙二五
日米爲替 二九弗〇五仙
米英爲替 二九弗六〇仙
日英爲替 一志二片二分
英支爲替 一志二片三分九
日印爲替 七七留比八分三

金銀市況
●上海標金 二四三、五〇
本寄 ‖

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向 第一回 賣 一〇二、〇〇 買 一〇二、七五〇〇
▲倫敦向 第一回 賣 一志二片 買 二三分七
▲紐育向 第一回 賣 二九弗 買 二六分一七

▲阪神日米爲替
賣 二八弗 買 二六分三

▲阪神日英爲替
賣 一志二片三分 買 一片二分

▲滿洲中銀爲替
上海向 九九弗
天津向 二九弗
紐育向 一志二片
倫敦向

各地株式市況

▲東京株式（短期）
新東、日魯、鐘紡、新滿、大東……

▲大阪株式（短期）
大新、新東、鐘紡、日魯、日産……

▲大連株式（短期）
五品、豆新、東新、滿鐵、同新、日魯、鐘紡、日産……

▲奉天株式（短期）

各地商品市況

▲大阪綿糸
七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限

▲大阪棉花
當限、先限

▲大阪人絹
當限、先限

各地特產市況

▲新京（一石値段）
現物 寄引 出來高
大豆 一四、一〇 五車
高粱 一四、一〇 五車
小豆 一四、一〇 五車
玉蜀黍 一四、一〇 五車

▲大連
●大豆 先物
七月限 六、九六 三八車
八月限 六、八五 八車
九月限 六、八五 一
十月限 六、八四 四車
●高粱
七月限 三、八〇 七車
八月限 三、八八 三車
●豆粕
袋入、七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限、三月限
●豆油
現物、八月限、九月限、十月限、十一月限

木曜 廿二日	舊六月十五日
庚戌	
友引	
平	
角宿	

●一白の人　遲々として萬事捗らず力抜けの狀態なる日　乙と辰と庚が吉
●二黑の人　彌縫の策は却て後日の憂を殘すに過ぎず凶　乙と癸と丑が吉
●三碧の人　平靜なりし波も突風の爲大ならんとする日　辛と壬と癸が吉
●四綠の人　他意を尊重して我意を行はざるに宜しき日　辛と壬と癸が吉
●五黃の人　諸事成行に任せて無理の策動をせぬが安全　乙と丙と丑が吉
●六白の人　運勢盛にして家道大に發揚するも輕動は凶　庚と辛と丑が吉
●七赤の人　糸を繰り出す如く其から其と伸長すべき日　未と庚と丑が吉
●八白の人　實直に謹業を守り他に心を移さざれば安全　乙と丁と丑が吉
●九紫の人　常に衆人よりの同情深ければ希望も滿さる　丁と未と壬が吉

貸家御案內

本日の空家

◇入船町二丁目七、四家賃約五〇圓三室住宅向・家主同和順吉野町電話③五五一一
◇朝日通八五家賃八〇圓四室店舖向・家主三浦新開店吉野町一丁目③三四九五
◇朝日通八五家賃一五〇圓四室・家主同前
◇御問合は直接家主へ願ひます
◇貸家貸間掲載御希望の向は當所へ御一報下さい

電氣御相談

◎屋內電氣工事の設計監督は無料で致しますから相談所を御利用願ひます
◎御需用家單獨で會社の營業當局に依賴し難いことが御座居ます場合には御需用家の爲に御斡旋致しますから御心安く御相談下さい
◎其他廣告サインの考案設計職業用電熱の採算・家庭用電氣器具の使ひ方等に就ての御相談に應じます
◎燈火管制について御不審の點が御座居ましたら御遠慮なく御問合せ願ひます

電業支店 電業相談所 電話3 六五二一 三三五六

帝都キネマ　電2 一四〇三
入場料階下 三十錢
七月20日より22日まで

社長様のお出で	3・04	7・17
女優ナナ	12・00 4・13	8・26
地の果てを行く	1・26 5・39	9・52 11・28

日曜は十時四十四分より

銀座キネマ　電③六四六五番
十九日より三日間
入場料三十錢均一

新月深川祭	1・30	3・25	7・30
雷雨の殺人	12・40	4・35	8・40
街の姬君	1・50	5・45	9・45 11・10
大毎 東日 ニュース	3・15	7・20	

岸本チエーン映畫御案內

豐樂劇場　廿日・廿一日二日間　階下三十錢

戰ひ合ツルワ		2・00	6・30
ボレロ		3・27	8・00
ロバータ	12・30	4・59	9・30 11・00終

新京キネマ　廿日・廿一日二日間　階下二十錢

特輯オリンピック	12・00	3・2	6・11
漫畫と映畫記錄	1・36	4・26	7・15
イバボ乘船 Gメンの行動	2・25	5・15	8・04

九時からも全部觀られします

朝日座　階下三十錢

旅人三傑豪人奇	12・00	3・33	7・06
組撰新話電	12・51	4・24	7・57
合場の女彼	2・06	5・39	9・12 10・35終

阪東妻三郎主演　戀山彥　◇近日公開◇　新京キネマ
ユナイト超特作　無敵艦隊　◇御期待を乞ふ◇　豐樂劇場
サービスガール募集　二十歲前後の方、本人來談　朝日座
新京キネマ

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社
電話〔編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇五〕
發行人 松本榮忠
編輯人 十河勇
印刷人 水越內之介

廿一日の撤退協約を無視
支那側依然履行せず
今井武官、宋氏に嚴重抗議

〔北平廿一日發國通〕衙門口附近一帶の第廿九軍は廿一日午前十時西苑兵營に引揚げを開始し、午後一時迄には全部引揚げを完了したが、永定河左岸八寶山及び右岸蘆溝橋附近一帶の支那軍は撤退命令に接せずと稱し今尙協約實行をなさず、またもや最も懸念されてゐた支那側の協定不履行に逢着、事態は憂慮すべき狀態に立至つた、我軍當局は重なる支那側の不誠意に決意の時到れりと憤激してゐる、支那側が速かに適宜の措置に出でざれば遂に全面的衝突は不可避とされ、局面は再び重大なる危機を孕んでゐる、松井機關長はこの不信をねじ込むため今井武官ならびに中島顧問を帶同、午後六時進德社に宋哲元氏を訪ひ目下嚴重抗議中である

宛平縣城內の支那軍
依然挑戰的行爲を續く

〔天津廿一日發國通〕支那側は北平附近の軍隊を廿一日中に撤退すると稱してゐるが、蘆溝橋附近の支那軍は依然陣地の補修增强に努めてをり、廿日夜のわが軍砲擊により破壞せる宛平縣城東南角の望樓には土嚢を積上げあくまでも挑戰行爲態度で、時折わが前線陣に向け小銃射擊をなしてゐる

中央軍爆擊機益都に到着

〔天津廿一日發國通〕南昌方面より飛來せる中央軍所屬の優秀爆擊機ノースロツプ七機は廿日山東省益都に到着した、また南京方面より高射砲八門を山東省防空のため、濟南市以外の各主要都邑に送附された

日支砲火を交ふ
(一)我が○隊の砲擊に宛平城內火災を起す
(二)機關銃隊の猛擊
(三)○○砲兵部隊のめざましき奮戰
(四)元氣一杯前進する步兵部隊
(五)敵狀偵察
(六)步兵最前線部隊の活動

石友三の保安隊 衙門口の警備へ

〔北平廿一日發國通〕宋哲元氏の口約に從つて第三十七師に代つて衙門口の警備に當ることゝなつた石友三麾下の保安隊は第二十九軍と服裝が同じなので上着を脱ぎ帽子に白帶を卷いて目標としながら午前十時頃から漸次第三十七師部隊のあとに入りつゝある、第三十七師は一先づ西苑の兵營に集結した上二十二日頃からさらに西方に移駐する豫定と言はれてゐる

酒井機を射擊せる部隊は
中央統轄下の商震軍

〔天津二十一日發國通〕支那側情報によれば、十八日平漢線元氏附近に於て偵察中のわが酒井機を射擊した部隊は三十二軍(商震)の第百四十二師にして酒井機の應射により兵十二名、馬十八頭負傷した しかるに支那新聞は旅客列車なりと稱してわが軍を攻擊してゐるが、前記支那側情報ならびに空中寫眞により河南省に移駐、中央の統轄を受けてゐる商震軍の中央軍なる事明瞭である、更に太原方面からの確報によれば、中央軍高桂磁の第八十四師は十八日午後以來同浦鐵道により大同方面への兵力輸送を着々實施してをり、主力は寧武驛に下車した、なほ右歸還列車には各地よりの避難民を滿載してゐる

我新兵器給水車 初めて戰場で活躍

〔豐臺廿一日發國通〕百度を超える炎天下に砲擊前進を續けるわが軍將士が最もほしがつてゐるものは水であつて豐臺一帶の戰場に湧く水は、わが軍數十年來の合言葉「生水は吞むな」がなくても斷然喉を通らない程の眞黑な泥水、ところが今度の戰にはわが軍の智囊が設計した給水車が出動して最前線近くに出て來て泥水を吞んでくるく廻る間に玉のやうな水が流れ出し將兵の渇を忘れさせてゐるが新兵器給水車の實戰應用はこれが最初で成績は百パーセントの成功である

藏相樞府で說明 財界に影響はなし

〔東京國通〕廿一日宮中における樞密院本會議散會後午前十時四十分より控室において樞府側の希望により賀屋藏相は各顧問官に對し今次の北支事變と財界に及ぼす影響について詳細なる說明をなし今次の事變については目下のところ財界に及ぼす影響は格別のことはなく、財界に對する壓迫といふやうなこともないやうである、又爲替關係も大した變動なく何等憂慮することはない旨を述べ、ついで陸軍省岡本中佐より去る十四日以後における北支の日支兩軍兵備配置狀況及び最近の北支情勢について說明、わが軍は既定方針に則り飽くまでも事態不擴大現地解決方針で臨んでゐる旨を述べ顧問官の質問に答へ午後零時半終了した

新聞協會決議

〔東京國通〕日本新聞協會では廿一日午前十一時理事會を開催、現下時局に關し、左の如く決議を行ひ、直ちにこれを近衛首相、杉山陸相、米內海相に傳達した

決議

わが日本新聞協會は東亞時局の安定と國際行動の基準に基き帝國政府の措置を支持し、陸海將兵を後援し更に全國人心を眞に統一し、極力その目的を貫徹せんことを期す

對日戰備の强化
軍事緊急委員會議に於いて
蔣氏、根本方針決定

〔南京廿一日發國通〕蔣介石氏は北支の事態の緊迫に鑑み急遽廬山より南京に歸來、直ちに中央軍官學校內官邸において軍政部長何應欽氏から前線の報告ならびに中央軍の戰備につき報告をうけ、ついで外交部長王寵惠氏から日本との外交々渉經過および英、米、ソ聯駐劄支那大使と政府との折衝顚末に關する報告をうけたのち午後八時軍事委員會緊急會議を召集、異常な緊張裡に時局對策を協議した結果、滿場一致蔣介石氏の聲明した根本原則を支持して左の如き國民政府の根本方針を決定、午後十一時散會した

一、對日戰備の强化
一、英、米、ソ聯に對する外交工作の推進
一、各部隊の戰時配備

ケラー女史大連へ

〔奉天國通〕滯奉中の三重苦の聖女ヘレン・ケラー女史は微恙のため豫定を變更、廿一日午後四時四十五分發あじあで大連に向ひ、星ヶ浦で靜養同市で四回の講演を行つた上新京に赴くことゝなつた

ラヂオ放送の抗日煽動 益々激烈

〔上海廿一日發國通〕國民政府無線電信委員會では交通部と協力北支事變勃發以來國內における抗日救國放送を續けつゝあつたが、最近に至り政府より同會に對し抗日放送を激增せよとの密令を發したので抗日放送は連夜激烈を極め上海その他各地において抗日意識はそのため俄然昂揚されつゝある

我軍の猛擊で 第二十九團々長重傷

〔天津廿一日發國通〕宛平縣に據り不法射擊を續けてゐた第二十九團の團長吉星文は二十日午後七時二十分頃わが軍の猛擊により重傷を負ひ後送された、なほ戰線は目下平靜である

內務省人事

〔東京國通〕內務省では廿一日左の如く部長異動を發令した

任富山縣經濟部長 都市計畫地方委員會事務官兼地方事務官 佐伯敏男
依願免本官 富山縣經濟部長 東德太郎

なほ東氏は全國絹織物工業組合理事長に就任の筈

對外信用を失墜
財政破綻の惧れ
孔氏、戰鬪中止を建言

〔上海廿一日發國通〕目下ロンドンに滯在中の財政部長孔祥熙氏は北支事變の財界及び金融界にあたへる影響の重大なるを憂慮し廿日ロンドンより國際電話で南京の王財政部次長から最近の支那經濟情勢を聽取したる上種々指令を與へたが、更に確聞するに孔部長は蔣介石氏に對して

事變により中國の對外信用を失墜すること甚しく今回の渡歐により折角有望視されつゝあつた列國の對支經濟援助も一大難局に陷り、列國の事變の解決遷延するにおいては軍事費の增大、列國の援助拒絕により財政破綻の最惡の事態を惹起するの惧れあるをもつて即時戰鬪行爲を中止し速かに局面收拾を圖られたい

と要請した模樣である

吉田書記官 今夜離京

在滿二ヶ年餘、南、植田兩全權大使の秘書官として活躍した大使館情報課長吉田寛氏はこの程ポートランド領事に榮轉することゝなり、各方面から惜まれ廿二日午後十時新京發赴任することゝなつた、なほ氏は外務本省と打合せの上八月下旬赴米の筈である

菊竹福日副社長

〔福岡國通〕豫て病臥中であつた福岡日日新聞社副社長菊竹淳氏は廿一日午後零時卅分逝去したが、西部日本の言論界に重きをなしてゐた同氏の計報は痛く各方面から惜まれてゐる

新京管區防空演習第二次準備演習は二十二日午前六時から二十三日午前八時に亘り大々的に實施される▼過般五日間に亘つて實施した燈火管制演習はその講評に依ると遺憾の點が多々あつたやうだ▼其の主なるものを擧げると警察官が豫め管制準備狀況を調べた時は▼空間であつたところに煌々と裸電燈が灯つてゐたり▼非常管制の時は消燈して警戒管制に入れば窓を明け放して煌々たる燈光を外部に洩らしたり▼非常管制時に自動車を馳たり煙草を吹かして漫歩したり最も甚しいのは全然設備をなしてゐなかつたといふ▼それ等の大部分が一般をリードすべき地位にある所謂知識階級であつたといふに於いては聞き捨てならぬことである▼さりとて過ぎたるは最早や詮議立てるとも及ばざること▼今日からの準備演習こそは全市民擧つて最善を盡し全滿に模範を示すと共に前回の汚名を雪がうではないか

社説　蔣介石氏の聲明

一

蔣介石氏が十九日、廬山の談話會に於いて發表した聲明なるものが報ぜられた。これは同じ日に南京及び上海でも發表されたといふのであるから、まさしく一國政治軍事の統率者としてその國民に告げた聲明であつたと見られる。

蔣介石氏は、先づ支那民族が終始平和を愛好し、對外關係に於いては他の諸國との相互尊重ならびに互存を目標として來たと述べてゐる。果してさうであつたか。近時北支に於いて支那軍が取つた行動、今次事變の端緒となつた事實それを見るならば、支那の平和愛好といふ事は明らかに裏切られてゐるのではないか。外國との相互尊重といふことも、北支に於いて實際に裏切られ來つた事實を數多われらは見てゐる。蔣氏の聲明は先づ自らその非を蔽ふ事から始めてゐる點に於いて、甚だしくその論理の矛盾を露呈してゐることを指摘せざるを得ない。

二

蔣氏が更に進んで、たとひ弱國たりとも最後の岸頭に立至れば我々のなすべきことは唯一つ、即ち全國民が最後の一滴まで傾倒し、國家存立のため抗爭するのみ、而して一たび右抗爭が開始さるれば時間の上からも情勢の上からも中途にして止み、和平を求めることは許されないと述べてゐることは、現下の情勢と關聯して特に注目を要するところであらう。一方に於いて外交上の手段を弄せんと畫策しつつ、現地に於いては甚だ積極的に攻勢を取つてはばからぬそのやり方と對照して、蔣氏のこの言葉は極めて意味深く聽かれるのである。蔣氏が國民存亡の懸かるところと極言せる如き、その修辭學的價値はいざ知らず、餘りにも一國の統率者の言辭として不謹愼な表現ではあるまいか。

三

斯くて蔣氏は今次の事變に關しての最少限度の條件たるものを提出してゐる。それは支那の領土保全、主權の保持冀察に對する中央の命令權持續、冀察首腦者任命に關する同様の事項、第二十九軍原駐に制限を加へられざる事等であるが、これらまた事變發生の根源に觸るる事無く、徒らに顧みて他を言ふ類ひの得手勝手な言ひ分であると言はざるを得ない。支那が二十數萬の大軍を北支に集結し平津のわが小部隊ならびに居留民に對して一擧鏖殺の姿勢をとつた如き事實は忘れ去られてゐるかの如くである。また冀察政務委員會についての言ひ分も甚だしく事實を歪曲し、故意に事を構へて圓滿解決を阻害せんとするものと言はざるを得ない。蔣氏の聲明によつても支那の對日態度は明瞭にされた。その意味に於いて必ずしも無意味でなかつた。

ソ聯反政府民衆へ抑壓手段露骨化
旺んに反滿抗日宣傳

乾岔子島事件以來全世界にその面目を失墜したソ聯では内部的に反政府熱鬱然として起りつゝあり、政府當局では如何にしてこれを抑壓するかに大いに腐心し、各種手段を講じてゐる、反ソ熱の一例としては最近國内隨處に反ソ宣傳ビラが張られ、發見せられるや官憲は靑年共産黨員と協力してその附近の家宅捜索を行つたり居住證書を檢査したりして民衆の迷惑は甚しい、尙ハバロフスク極東軍司令部では本國政府の命令で、ソ聯は極東の平和維持を可及的に欲するも日滿軍は頻りに不法越境、攻撃をなすにより、やむを得ざれば之に應戰の準備あり等との逆宣傳を行つてゐる、しかして勞働大衆の愛國熱を喚起する手段として、從來一ヶ月五日間の休日を三日間とし殘餘を奉仕勞働としてその金を國境警備に充用せんとしつゝある、今回の内亂以來民衆の反政府熱は漸次濃厚になりつゝあるのは如何ともしがたく、本國政府は國境方面居住者にして不純分子と目する者には極東軍に對し本國送還を命令した、斯の如く民衆の反政府熱に比例し政府の抑壓手段は益々露骨となりつゝあるも、その澎湃たる反ソ熱は益々潜在的となりつゝある一方である

陸軍省軍事扶助の徹底に乘出す
出征將兵の後顧を除く

【東京國通】わが前線の將士が、北支の酷熱と暴戻なる二十九軍の不法攻撃に抗して苦闘を續けてゐる折柄、陸軍當局ではこの忠勇なる將士をしてあくまでも後顧の憂なく安んじて奮闘を續けさせるため事變勃發と共に、軍事法の根本方針を樹立、一切の準備を整へ内務省の關係局と打合せを遂げ、左の方針を具體化することゝなつた

一、新に施行された軍事扶助法の實施につき、一家族の扶助をも漏れないやうに努める

二、會社、銀行その他勤務者が兵役義務に就いた場合、職業保證についても保證法の實行を嚴重に監視、督勵する

三、前線將士家族の生計中大きな割合を占める醫料費の負擔を輕減するため、病人の實費診療、藥品の實費提供を廣く全國の醫師、藥劑師團體に呼びかけその協力を希ふ

古島一雄氏召喚さる

【東京國通】貴族院議員古島一雄氏は廿一日午前九時五十分任意出頭の形式で麹町の憲兵隊に召喚され、特高課の取調をうけてゐる、同氏は去る六月廿日長野縣にて開催された信濃教育會總會席上二、二六事件に關し軍民離間的な講演をしたことが判明したゝめ治安警察法違反の嫌疑により取調べをうけたものである

佐藤博士再渡支

【東京國通】人類の敵といはれる支那の風土病カラザールに對する我が研究陣は、さきに帝大傳染病研究所佐藤秀三博士を團長とする科學挺身隊を支那に派遣し研究を進めてゐる内、去る五月末一行中の山田信一郎博士の殉職を見一頓挫の形になつてゐたが、この病氣はこれから十一月頃迄が猖獗期なるため、萬一日下現地で暴戻な支那軍と對峙してゐるわが兵士間にでも蔓延したら一大事といふので、危險だといふ當局の勸告を斷乎退けて佐藤博士は病源菌採集のため、來る八月廿八日東京出發北支へ向ふことゝなつた

銃後丹精の慰問袋
四千個現地へ

【東京國通】都下の女學生を始め一般市民の赤誠になる慰問袋は、陸軍省構内の廊下にうづ高く積まれその數も七千個を算したので、廿日取敢ず中四千個を百三十の大箱に詰め同日夕刻トラツクで積出し北支現地へ發送された

協和會靑訓第一回卒業式

協和會首都本部靑年訓練所第一回卒業式は、廿一日午前十時より田邊首都本部長、李新京地區司令官、徐新京市長を始め多數來賓臨席の下に開催され、五月十九日訓練入所以來二ケ月に亘り滿洲國の中堅靑年として活動すべく訓練された卅八名の卒業生に對し、植田所長より卒業證書及び賞品を授與し、來賓より夫々訓辭、祝辭あり盛會裡に午後零時半終了した

滿洲炭の輸入增大を石炭工聯で決定
品薄を見越して

【東京國通】石炭工業聯合會では十九日午後理事會を開き北支事變突發による石炭需給狀態の變動ならびに下期の石炭輸送力の問題につき協議の結果、今般の北支事變により北支炭の輸入圓滑になること が豫想されこれに關聯して内地送炭力においても若松炭などの輸送を增大して需給を調節する必要があるので、これ等の點より從來上下兩期に分割して決定して來た送炭割當高を特に今後上下兩期通算することに決定し、この結果今後の需要增加と北支事變に伴ふ供給不足ならびに輸送力を補ふ意味において滿洲炭の輸入增大をはかるとゝもに八、九月中にも可能なる限り送炭せしめ、下期の分も豫め上期に繰上げ送炭せしめることゝなつた、石炭聯合會では右決定につき增產計畫に關する商工省の諮問に對する答申案作成の最終的協議を行つた結果送炭豫定數量は十二年度三千百八十萬噸として左の如き割合をもつて增產することに決した

（單位千噸）

年度	數量
十二年度	三一、八〇〇
十三年度	三五、六〇〇
十四年度	三九、〇〇〇
十五年度	四一、七〇〇
十六年度	四四、二〇〇

故寺田大佐の銅像建立計畫
蒙、露人から發議

去る十六日海拉爾で逝去した興安北省警備軍顧問故寺田利光大佐を繞つてホロンバイル地方の蒙古人及び白系露人の間に麗はしい話題が持上り現地官邊を痛く感激させてゐる、故寺田大佐は顧問として海拉爾に赴任して以來その該博な蒙古事情、ソ聯事情に關する知識とソ蒙支三國語に精通するところより常に蒙古人や白系露人の間に接觸し、そのよき理解者でありよき指導者として慈父の如く慕はれるに至つたが、今回の急逝に際會した彼等は哀惜追慕の情に堪へず故人生前の面影を永久にしのぶべく蒙古人、白系露人が一體となつて、早くも銅像建立の議が持上つたものである現地官邊では右の相談を受けて非常に感激し、協和會および現地官廳が後援者となつて早速建設準備に着手することになつた

故寺田大佐　慰靈祭は廿三日

去る十六日任地海拉爾において急逝した關東軍司令部附滿洲國軍事顧問故砲兵大佐寺田利光氏の慰靈祭は來る二十三日午後一時東三條通長春寺において執行される

苦力の惡戲で列車危く顚覆

去る十八日午前九時半頃奉天市若松町ガス會社南方二百米附近の鐵道線路上に小石をうづ高く積みあげて列車の運轉を妨害せんとする二名の滿人少年があるのを折柄附近を散歩中の長尾部隊軍屬田中劍吉氏夫人貞美さん（二六）が發見、これを阻止せんとしたところ女と見くびつた滿人少年は更に三、四ケ所に石を積みあげ、同夫人に脅迫的態度に出たが折柄渾河を發した北行六四四列車が驀進し來つたので、貞美夫人は身の危險をも忘れパラソルを翳して線路上に立ちはだかり、同列車は顚覆一歩前に危く急停車し漸く事なきを得た犯人は急報によりその場で一名を逮捕、他の一名は同十時皇姑屯で逮捕された、取調べの結果右は山東省生れ苦力段培平（一八）山東省生れ皇姑屯居住費福澤（一五）と判明奉天警察署では北支事變突發の際とて一時記事を掲載禁止し背後關係を嚴重調査中であつたがその眞相判明とゝもに廿日同署より發表された、なほ列車を顚覆より救つた田中夫人の勇敢なる行爲は奉天署ならびに鐵道事務所より近く表彰されることゝなつた

商議檢定試驗

新京商工會議所の商業實務員第一回檢定試驗應募は二十日締切つたが、市中より二十一名の受驗者あり、なほ特殊會社等の團體申込みのため遲延をみてゐるものもあり約三十名以上には達する見込である

下水試驗室完成

滿鐵鐵道研究所業務中上下水道研究部内實驗設備として昨年來施設着手中であつた新京東安屯第三區第三段十五、十六番地新京下水處理試驗室工事は略ぼ完成し從業員主事二名の配屬も終り數日前から業務を開始した

協和會廳舍縱覽

昨夏以來大同公園の一角に新築中の滿洲帝國協和會の廳舍は此の程竣工したので二十五日午前十一時各機關を招いて廳舍内の縱覽を行ふことになつた

「筑紫」竣工

大經路十七號、御野惣兵衞氏經營の食道樂「筑紫」は豫て店内改造中のところ此の程竣工し十九日から華々しく開業した

“瑞穗”披露

市内朝日通西七馬路九號（領事館東）の和洋料理“瑞穗”は内部改造中のところ竣工したので十九日から華々しく開業午後五時より各方面を招いて披露宴を張つた

商況欄

株式相場（七月二十一日）後場

●大連株式（短期）

品名	寄	引
五品	一六〇、〇〇	—
豆新	一九、四〇	—
東新	一四六、一〇	—
滿鐵	五六、〇〇	—
同新	四四、五〇	—
日產	七七、一〇	—
鐘新	二〇七、四〇	—

●奉天株式（短期）

品名	寄	引
滿取	—	—
東新	一四五、七〇	一四六、六〇
日鹽新	七七、〇〇	—
體新	二〇〇、三三	二〇二、四〇
五品	一六、一〇	—
豆新	—	—
滿鐵	三五、三〇	—
同新	四四、六〇	—
電甲	三〇、〇〇	—
滿毛	—	—
日番	六七、八〇	—

手形交換高（二十一日）

四〇四口　三三九、六七四、四一

鮮魚小賣相場（七月二十一日）

品名	最高	最低
活鯛	一四五	六五
氷鯛	七八	…
小鯛	五〇	三五
ヒラス	…	…
マナ	…	…
サワラ	…	…
スズキ	一三	二八
ニベ	二四	…
アジ	…	…
サバ	二七	二四
赤ムツ	…	…
アコウ	…	…
メバル	九二	八〇
アブラメ	…	…
タコ	三〇	二四
飯蛸	…	…
水蛸	…	…
數甲イカ	…	…
甲イカ	…	…
小イカ	…	…
ヒライメ	…	…
カナガシラ	二八	…
コノシロ	…	…
コチ	…	…
オコゼ	…	…
キス	八五	…
サヨリ	…	…
アナゴ	一八	…
帆立貝身	…	…
赤貝	…	…
蜆貝	一五	一〇
ハマキミ貝	…	…
鰻	…	…
カニ	…	…
鯛（切り身相場）	…	…
鰤	九〇	五〇
ヒラス	…	…
サワラ	…	…
ヒラメ	…	…

天氣と氣溫

けふの天氣　南寄の風晴れ時々曇模樣
日の出　前五時一五分
日の入　後八時一四分
月の出　後七時一二分
月の入　前三時五〇分
きのふの氣溫　最高三二度四　最低二二度八

第卅五期　決算公告

自昭和十二年一月一日　至同年六月三十日

貸借對照表

借方

科目	金額
所有不動產	五〇、〇〇〇・〇〇
所有株式	三一、六〇七・〇〇
證書貸付金	二四、九六〇・〇〇
手形貸付金	二八三、三三三・三八
銀行預金	一九六、一四〇・八六
什器	四二一・〇〇
末收金	二、二八八・七五
假拂金	九七〇・七〇
現金	五、三三六・五三
合計	五九四、八九八・三二

貸方

科目	金額
資本金	七〇、〇〇〇・〇〇
別途積立金	一五、〇〇〇・〇〇
法定積立金	一一、九〇〇・〇〇
建物消却積立金	二、〇〇〇・〇〇
社員退職給與基金	一四、六〇〇・〇〇
借入金	四五八、四七一・三七
末拂利子	一、五〇〇・〇〇
配當末濟金	一一六・〇〇
末經過收入割引料	一、〇七一・一四
當期純益金	二〇、二三九・七〇
合計	五九四、八九八・三二

利益金處分

一金三萬八千三百七十八圓三十二錢也　當期總益金
一金二萬二千七百三十五圓六十八錢也　當期總損金
一金四千五百九十七圓六錢也　前期繰越金
差引純益金二萬二百三十九圓七十錢也
內
一金一千圓也　決定積立金
一金一萬圓也　別途積立金
一金一千四百圓也　社員退職給與基金
一金三千五百圓也　配當金（年一割）
一金一千五百圓也　役員賞與金
一金二千八百三十九圓七十錢也　後期繰越金

右の通り候也
昭和十二年七月二十日
福信金融株式會社

幾多開拓餘地を殘す 滿洲の漁業 （二）

漁業取締法の公布を前に

烏蘇里江水系

烏蘇里江 淡水魚の外に鮭、鱒等の遡河魚類を產する、漁期は鮭の產卵期たる陽曆九月十日より卅日に至る約三週間が最も盛んで、漁法は對岸の露側では專ら網を用ひるが滿洲沿岸では空鈎を主とする、漁獲高はこの三週間に滿洲沿岸のみで十五萬乃至廿萬尾に達する

興凱湖 滿領東部國境の中間に位し南北六十キロ—八十キロと言はれ、その中間三分の二は露領に屬するが滿洲國領に屬する部分のみでも上記いづれの湖水よりも大きく、鯉魚、すつぽん等の魚類豐富にして以前は魚類の販路も廣かつたが、烏蘇里鐵道の開通によつて同地方は一僻地となり人口稀薄、需要僅少のため漁業は殆んど語るべきものなく半農半漁の露人が之に從事し現在冬期においてボクラニチナヤ方面に僅かに移出あるのでである

呼倫湖水系

蒙古人の宗教的慣習上漁撈が行はれず魚族の繁殖に委せられてゐたが、一九〇四年頃露人によつて烏爾順河に漁業が行はれるに至つてから漸次盛大となり、一九一〇年より一九一四年の間は漁場卅ヶ所、一夏の漁獲高四千五百屯に上つたこともあつたと言はれるが、その後流水、濫獲一九一七年のロシア革命勃發、一九二九年露支紛爭、赤露兵の妨害等種々の原因によつて全く衰徴に赴いた

呼倫湖 呼倫及び貝爾の兩湖は烏爾順河によつて通じてゐるダライ湖とも言ひ呼倫湖で漁業の本格的に行はれたのは一九一四年以來である 滿洲里の東南方一二〇滿里にあり周圍五〇〇滿里、近時冬期漁業は行はれず春秋期に漁獲したる物を蓄養して冬期これを取上げて販賣してゐる漁獲物の八〇%は鯉魚といはれてゐる

貝爾湖 呼倫湖の南方にあたり呼倫湖より大きく幅四〇粁長さ六〇粁の楕圓形をなし最深處は約百尺もあるといはれてゐる、呼倫湖と共に古來魚類の棲息頗る豐富で早くより露人により着目せられ、一九〇五漁業航可を得たるも蒙古人の迫害に遇ひ、さらに一九二五年滿洲里居住の露人達がその權利の漁業權を得んとして失敗したと傳へられ、現在に及び又歐露方面への輸出杜絶し加ふるに國境方面に治安確立せざるため、現今漁業は全く廢絶した態である

烏爾順河 貝爾湖より出て呼倫湖に注ぎ全長百三十九粁、河幅一五米乃至二十米、呼倫湖水系に於て最も早く露人による漁業が行はれた河で、當時水量も多く漁獲高も莫大な數量に上つたが一九一五年頃より漸時水量を減じ、一九二三年後は殆んど漁撈が行はれないやうになつた

克爾倫河 庫倫の東北方にある督特山大に源を發して東北に走り呼倫湖に入る夏期旱魃時には、はなはだしく減水する、漁場數ヶ所あり河口に於て春期より夏期にかけて漁業が行はれる

額爾左納河及び黑龍江水系

額爾左納河 呼倫貝爾の北、露滿國境を走り魚族は相當棲息してゐるものと見られてゐる

海拉爾 河流程三百五十三粁魚族比較的多く殊にタイメンが豐富である、漁期は夏秋、漁期は水深か淺いため一に小さいといはれる

根河 流速すこぶる急で河水清澄冷冽であるタイメンその他鮭鱒科の漁類の棲息が多い

特勒布河 根河に平行して流れ下流に於て哈布爾河を合せて額爾左納河に入る、水深淺く小魚を產するにすぎない

黑龍江 額爾左納河を呼倫貝爾よりオノン河を露領よりそれて露滿國境を流るゝ大河、鮭鱒類タイメン、白魚、細鱗魚、草根魚等の漁族が棲息するが本水系の流域地方が未だ未開拓地に屬し、人煙稀薄なるため魚類の需要もなく漁業は殆んど行はれてゐない

漁期

河川 北滿に於ける河川の漁期は地方により一律ではないが一般に解氷期より結氷時までの間に行はれ、最盛期は產卵期たる陽曆五月頃の減水時である、六、七月以後雨期に入つて水量が增し又暑熱が加はつて水溫上昇する頃となれば休業し立秋（八月八日）頃再び開始されて白露（九月八日）より中秋節（九月廿三日）頃まで續けられる、然し乍らそれ以後も釣漁は行はれるのが普通である、冬期結氷後も松花江下流及び嫩江等に於ては次項に述べる如き種々の漁撈法により操業されるが、結氷後の漁撈は大部分舊正月前でそれ以後は概して行はれない

湖沼 大體冬期十一月より二月頃にかけて結氷を破碎して行はれるのを普通とする、呼倫湖に於ては從來一、二漁場を除く外專ら冬期漁が行はれてゐる外交部の調査發表によれば現在むしろ夏期の漁獲が旺んとなつてをり、鏡泊湖も養漁地の設備を有してゐるため夏期漁撈も行はれる、結氷期前に漁獲したものはこれを養魚池に入れて冬期凍魚として市場に出すのであるが品質が一般に劣るため市價は低廉である、呼倫湖水系の烏爾順河、克魯倫河等は春季解氷期より夏季にかけて漁撈が行はれる

漁撈法

漁撈法とはもり等の最も原始的なものより大網の如き大規模のものに至るまで日本の淡水漁業に比して多種多樣の漁具を使用するがそれ等の操作法は幼稚で日本の海洋漁具の豐富さ及びその巧妙さには遙かに及ばない

定所漁業 定所漁業としては亮子漁業、氷槽子漁業、張網漁業等の定置漁業及び大網漁業の如き定所投網漁業が主なるものである

イ、亮子漁業 結氷期に於る漁業である、北滿到る所、殊に嫩江下流地方が盛んで大網漁業と並んで代表漁業である

ロ、氷槽子漁業 河川の入江又は河川に通ずる沼澤等が十糎位の厚さに結氷した時行ふ、柳簀を用ふ

（ハ）張網漁業 日本の受けに相當する囊網を河流に沿ひ定着裝置し流入する魚類を採捕する、嫩江地方では帶河網と呼ばれてゐる

ニ、大網漁業 片子網、串鈴網、穿龍網等の別名あり、大規模な地曳網漁業で網曳場は特殊の河況を必要とするため、漁場は一定の水面に限定せられる

游動漁業

イ、掛網漁業 本漁業は魚類を網地に纏絡せしめ或は網目に刺さしめて爲す漁業でいづれも二、三人乘の小舟を用ふる流網漁業である

ロ、拉網漁業 一定の網曳場を有しない小地曳網漁業等で之に使用さるゝ漁具に小撈網、鐵脚子網の二種がある

ハ、釣漁業 本漁業は延繩漁業であるが餌料を用ひる餌釣漁業（鈍鈎と小快鈎の二種あり）と然らざる空釣漁業の二種あり、いづれも現在河川漁業の雄なるものである

ニ、掩網漁業 施網（普通の投網）と網（施網より大形にして漁船より延べてなす）の二種あり

漁業（木造）

大船一萬斤乃至二萬斤積み價格は百圓以上中船二千斤以上三千斤積み、價格五十圓以上のもの 小船五百斤乃至六百斤積み十五圓內外

その他魚簎漁業、撈釣漁業等あり

取引狀況

北滿における淡水魚の取引市場は呼倫湖水系の漁業が華かであつた頃は滿洲里を最大の市場としてゐた、その後滿洲里の衰微によつて現在大取引市場として榮えつゝあるものは近年急激に漁獲の盛大さを加へた嫩江下流の大賚及び江橋である、この外海拉爾の漁獲も控へてゐる海拉爾市場も將來有望とされてゐる、取引の行はれる時期は主に冬季十一月以後で夏季は氣溫高く遠隔地への輸送不可能のため漁場附近の需要に充すに過ぎない

康德二年（昭和十年）一月官地調査に當れる臨時產業調査局安氣震氏の調査に依れば大にたる漁業關係の諸税捐につぎ漁業者の負擔する諸税捐は重く、收入の五〇%に達し現在漁家貧窮の大原因とも稱し得られるので滿洲國水產行政によつて漁業の發展を招來せしめるため、諸種の漁撈法の改良以外に諸税捐の輕減を考慮せんとするものである

海洋漁業

漁業狀況 營口水產局の

	漁船數	漁業者數
大同元年	二、二四七	三、七三七
同　二年	—	三、七三一
康德元年	四、七三七	二、〇七〇
同　二年	四、四〇六	一九、七八六
同　三年	五、一一三	二一、一三一

康德三年度黃海、渤海に於ける漁業統計報告によれば康德三年度は前年度に比し漁船數一一%、漁具數七%、漁業者數二二%增加せるも漁獲高に於ては一〇%、金額四%の減少を示してゐる これが原因につき種別漁獲高を調査するに定棲性の水族試中グチ、エビ等本邦海產漁獲物の主要なるもの減額のためで斯の如き現象を來したものであつてその原因については水產試驗場において研究中であるが、黃渤海における汽船底曳網漁船およびトロール漁船の跳梁もその一因をなすものと思料せられる

▲黃渤海漁業統計表（關東州を除く）

	漁具數	漁獲高
大同元年	—	二九、八〇二、六五二斤
同　二年	—	二七、五五〇、一五一（五一、八五五、四二三）
康德元年	三九、三八〇	（二一、六四三、六三〇圓）
同　二年	二八、〇八一	（三七、四九九、八三七）一二、一二一、二九六
同　三年	三四、四二三	（三二、七九六、五一一）（三一、九七五、三三四）

黃海沿革 安東縣大東溝より莊河國尖山子に至る約百三十浬の沿岸で、海岸線は比較的屈曲少く河川より流出する沈積物の形成する泥質の淺海部は遠く沖合に向つて發達し、春より夏にかけて鴨綠江口に產卵のため來集する魚族の漁獲にやゝ見るべきものがあるのみで、且つ近接せる需要地を有せず、輸送口にも些か不便あるため概して不活潑である、從つて漁業は主として莊河縣下に行はれてゐるトクロ網、崩網等による漁業最も多く釣鉤、流網漁業これに次ぎその他、推蝦網および風網漁業による漁船がある、定着漁業の行はれる漁業數は三三〇餘りで、この大部分は小張網および亮網漁業である漁獲物は蝦類、黃花魚、鱗刀魚、サワラ蠣黃を主として年額約五十萬圓程度で主として安東に消費せられる、鴨綠江の銀魚、サワラ漁場、同江口の偏口魚楊板魚漁場は籾名なものである

渤海沿岸 關東州境復州より山海關に至る沿岸で交通運輸に比較的便利な地域であり、大集散地たる營口を控へてゐる關係により將來相當有望とされてゐる、掛網、釣鉤、拉網及び光腿網の漁船が大部分を占めてゐる、定置漁業は四四八の漁場あり、その漁撈法は亮網漁業が過半數を占め、出網および小張網之につぐ、年產約二百萬圓である 今後熱河地方の開發、北支地方の安定と相俟つて他の遼西五縣も營口、蓋平二縣に劣らず發展過程を取るべくこの點黃海方面に比し多大の將來性を有するものと思惟せらる

魚種、魚期、漁場

黃、渤海兩沿岸好漁場とせらるゝものは黃海沿岸には殆どなく渤海沿岸黃花魚の本場たる魚圏、望海、寨、西河套および張網漁業漁船の根據地として有名な二界溝等を有し重要な漁船停泊地も黃海における安東以外は營口、壺蘆島、大孤山、天橋廠（西河口）等總て渤海岸にある

△黃花魚（タイチ）　漁期　漁場
五月—六月　渤海側—魚圏、望海寨、營口沖、菊花島沖
五月末—八月末　黃海側—安東沖

△サハラ
六月—七月　渤海側—魚圏、望海寨、營口沖、菊花島沖
四月下—六月上　黃海側—安東沖

△鱸子魚（スズキ）　七月—九月　盤山、錦縣、蓋平、沿海
△ニベ　七月—九月　營口、蓋平、錦縣、沿海
△ボラ　三月—十月　營口、錦縣、黃河、その他渤海、沿海
△比目魚（ヒラメ）　七月—九月　興城、綏中、莊河、蓋平、沿海
△偏口魚（カレイ）　五月—九月　莊河、綏中、沿海
△ヒラ　五月—七月　營口、錦縣、莊河沖
△胃皮魚　六月—七月　蓋平、復縣、沿海
△白米子魚（イシモチ）　五月—七月　蓋平、復縣、綏中、莊河、安東沿海
△太刀魚（タチウオ）　八月—十月　復縣、興城、綏中、莊河沿海
△對蝦（コウライエビ）　五月—七月　蓋平、錦縣、興城、綏中、莊河沿海
△海蟹（カニ）　五月—八月　沿海各所
△海蝦（エビ）　四月—十月　沿海各所
△蛤子（ハマグリ）　五月—九月　營口、盤山沿海

滿洲國チーム 廿三日新京發

都市對抗優勝目指して

新京滿洲國野球チームは滿洲各地數次の豫選大會に優勝し全滿代表として八月一日より東京に於て擧行される都市對抗野球大會に出場することに決定、二十三日午後九時五十分遠征の途に上るが一行のメンバー並に日程は左の通り

メンバー

監督　水原、甘利
投手　長尾、田中、津田、古井
捕手　二木、平田、佐藤
一壘　深瀨
二壘　横內、鈴木
三壘　加藤、武田
遊擊　佐々木
外野　高橋、古岩井、栗原、木村、岡田

東京遠征日程表

七月二十三日新京發　午後九時五十分（拾六列車、急行寢台）
二十四日大連着　午前九時五十分
大連出帆　午前十一時熱河丸（七、〇〇〇噸）
二十六日門司着　午前六時上陸
門司發　午前八時四十五分
下關着　午前九時
下關發　午前九時十五分、（八列車、急行）
神戶發　午前七時十七分明石泊
二十七日休養（輕い練習）明石泊
二十八日試合　明石
神戶發　午後十時十七分、（六列車、急行、寢台）
二十九日東京着　午前九時三十分東京泊
三十日休養　明治神宮球場にて練習東京泊
三十一日休養　戶塚球場にて練習、東京泊
八月一日—七日　都市對抗野球大會東京泊
八日休養
九日休養
十日　門司　門鐵又は八幡製鐵所と試合の豫定
十一日休養　門司泊
十二日門司出帆　正午熱河丸
十四日大連着　午前九時大連泊
十五日大連發　午前十時特急（アジア）
新京着　午後六時二十分

全新京網球選手權大會

全新京網球選手權大會は二十日午後四時から中銀コートにて擧行、ダブルスでは吳、馬場組、シングルスでも同樣馬場氏が優勝した閉戰午後六時十分、成績次の通り

△ダブル

（照井・小佐々）6—4　6—4（松岡・藤岡）
（照井・小佐々）6—2　6—0（今村・岡田）
（吳・馬場）6—1　6—3（石橋・増田）
（吳・馬場）6—1　6—1（山崎・則生）
（吳・馬場）3—6　6—1　6—2（照井・小佐々）

△シングル（一、二回戰省略）

準決勝戰
馬場（7—9、6—2）照井
石橋（7—5、6—2）則生

決勝戰
馬場（6—1、6—0）石橋

新京防空準備演習を終りて（下）

新京統監部　竹內中佐

電燈カバーや黑布の設備は今一層實際的に完備して欲しいものです、さき頃警察署の方で燈火管制の施設に關する檢査が行はれましたが、その際「この電燈は使用しない」とか「この部屋は使はない」とかの理由で管制設備を行はなかつた電燈や部屋が相當あつたさうです、ところが實際五日間に亘つて演習をやつて見ますと皮肉にも非常管制時に漏らした光の源が多くこの種の電燈や窓にあつたことが判明したのであります、僅か五日間の燈火管制實施においてすでに然りであります、長期にわたる實戰の場合を想到する時は蓋し思ひ半ばに過ぐるものがある筈はありませんか。苟くも不必要な電燈を平素からわざわざ備へつけて置く家はない筈です。又使用する電燈がある以上、窓の陰蔽設備を必要とすることも當然であります。少くとも演習といふ頭を去つて實戰的にお考へになればこの問題の解決は容易であります又防毒マスクの準備につきましても同樣でありまして、今度の防護團の演習を見ましても瓦斯の中で防毒面も被らず平氣で防火に努めてをつた消防隊も一、二見受けられましたが、あれは防空演習としては極端に申せば意味を爲しません。防毒マスクは一般市民にも勿論必要でありますが少くとも空襲下にあつて重要な仕事を續けて行かねばならぬ人々には絶對にその準備を必要と致します

若しマスクの準備がなかつたならば、假令目の前に瓦斯彈を投下されなくとも、絶えず不安に襲はれまして仕事もろくろく手につかぬのではないかと思はれます私は家屋が破壞されることよりも、この恐怖より生ずる人心の混亂が更に恐ろしいものであることを痛感いたして居ります

「備へあれば憂ひなし」といふ標語の精神をこの際是非共事實の上に具現せられんことを熱望して已みません、次に申上げたいことは非常管制中に光を殘したり漏らしたりすることは大禁物でありまして此一燈が敵機を招く恐ろしい結果となりますことは皆さん御承知の通りであります、それで單に自分の家の燈りさへ仕末すればそれで責任は免れ得るものだとの消極的な考へ方を一擲して全市民一團となつて共に倶に防空の事に從ふといふ大乘的見地よりお互に注意し合ふことが大切であります、便所や浴場や臺所から漏れる光は表通りからは見へないが裏の家の二階からはよく見へるのであります、この光りを認めた人は假令防護團員でなくとも決してこれを見逃してはなりません、裏と裏とで連絡し注意し合ふやうに心懸けて貰ひたいと思ひます、最後にこの演習のためすくなからぬ犧牲を忍ばれて熱心に演習に從事された市民各位の御努力に對し、深甚の敬意を表すと共に連日連夜東奔西走本業家業を拋つて指導に任に當られた指導員各位、及び不眠不休足を棒にし神經を摺り減らして御活動下さつた警察防護團の人々、或ひはその他演習實施のため、各分擔業務に盡力された方々に對し衷心より厚く御禮を申上げます 近くまた廿二日から新京統監の統裁する演習が行はれまし、全滿防護本演習も接近して參りますし、時局もぐんぐん進みつゝありますのでこの上とも更に一段の御努力を御願ひ致す次第であります

使ふ電氣は届けた上で

盜電防止入選標語發表

滿洲電業會社で豫て募集中の盜電防止標語は應募日語一、二四三篇滿語八六六篇合計二、二〇九篇中審査の結果左の如く入選決定、二十日發表された

一等 一篇
使ふ電氣は届けた上で　新京專賣總局燃料科　柴田賢二氏

二等 二篇
盜得電萬丈、不如方寸亮　新京東四馬路一〇八　王　祥氏
正しい心に輝く電氣　咸鏡北道警察部保安課　尹藏奎氏

三等 三篇
花錢安電燈、人物兩光明　新京大經路兩級小學校　朱柄元氏
正しい光に明るい心　西安縣城滿月胡同　金子喜彦氏
届けた電氣明るい我が家　新京清和街六〇四枚本方　白石貞夫氏

佳作 十篇
電氣は届けて無駄なく使へ　新京露月町三ノ五九ノ二　清武ミチヲ氏
倫電有危險、損人不利已　新京西四道街第二中央宿舍　李鏡軒氏
届けた電氣明るい電氣　新京入船町阿川ビル二　久保田規雄氏
盜電是領導家中兒童行竊之始　新京大經路不通胡同二　馬玉書氏
盜用電光臉上無光　新京東三馬路振興東院內　王桂森氏
正しく使へば明るい電氣　新京同光胡同三〇四中恭行寓　緒方ミツ子氏
届けた電氣明るい氣持　新京豐樂路七〇九　中塚守氏
一家盜電、萬家滅光　新京水仙町二ノ二四　王述仁氏
一戶の盜電萬戶の迷惑　新京朝日通五の一アサヒ自轉車商會　濱村千鶴子氏
正しく電化輝く文化　新京同光胡同三一一　松井吉國氏

（註）一、一等に該當すべき秀篇ありたるが最近日本內地に於て募集せし際一等に入選濟なるため特に之を除外す　二、「一戶の盜電萬戶の迷惑」は同句四篇ありたるため[illegible]

家庭

冷たいお飲物よりも 先づ絞りタオルを

夏のお客さま應待

暑い盛りをお出でになつたお客様には、用件はともあれ先づ涼しく落着かせて差上げるのが最も大切な心盡しであります。お客様に依つてはどうしても應接間にお通ししなければなりませんが、若し親しい方でしたら固苦しい

應接室よりも端近でも風の

通る處へお通しするのが親切であります。お通ししたら先づ扇風機なり團扇なりおすゝめして置いて、冷たい絞りタオルをお出しするのが宜しいのです。大抵の家庭では冷たい飲物を眞先にお出しするのが禮儀のやうに考へられてゐますが、びつしより濡れた手の汗をおしぼりで拭いてから、おもむろに冷いものを頂く方がずつとさつぱり致します。お話をし乍ら團扇からお客様を扇いで差上げるのも親しみが溢れてよく、背廣の方でしたら釦をはづして寛ろいで頂くこと、訪問して固苦しい思ひをする位著いことはございません。又不意のお客ではなく

前以てお出でになることが

わかつてをりましたら心盡しの輕い飲物や冷やした果物を用意し、打水をして金魚鉢の水も替へ、さつぱりした感じを與へるやう注意します。

應待の服裝は目上の方が不意にお出でになつた場合は、お部屋へお通ししてタオルや飲物、團扇などをおすゝめしてゐる間に手早く着物を着替へる事です。主婦はいかなる場合も恥しくない服裝をしてゐれば、其儘目上の方をお迎へしても差支へはありませんが汗ばんだ浴衣に中巾帶などの場合は親しいお客様には却つて親しみが出て結構ですが、目上の方には質素でも浴衣以外のものに着替へるのが禮儀であります。反對に極く親しい方や目下の人に對するのにも餘り立派な身なりをすることは失禮であり、お互に重苦しい氣分になつて夏向きではありません。

泊り客にはなるべく客間を

自分の部屋として頂けるやうな自由な氣持にさせること、あまり丁寧過ぎて事々に干渉したり附きつきりのやうでは却つて失禮になり、わづらはしいものです。

こちらから訪問の際

(反對に) 訪問の際はハンカチを必ず二枚用意すること、訪問して穢いハンカチを使ふのは最も目立つからです。齊物は木綿や麻でも汗のつかない折目の正しいのが勿論よく、足袋と履物は夏は殊更目立ちますから、それ/\注意を要します。すゝめられたものは、あまり遠慮するのは却つて失禮にあたります。殊にアイスクリームとか溶け易い氷物などは好意を無にしてはいけません。お腹でもいためてゐてどうしても頂けない時は出された時に丁寧にわけを述べてお斷りをすべきです。

出された團扇は左の掌で柄の先を受け、右手で靜かにあをぐべきで、持ち上げて勢よくあをぐのは女性の場合は失禮です。

(男子は) 流行の開襟シャツやノーネクタイで訪問するのは、改まつた場所や目上の方には失禮です又おしぼりを出された場合にツルリと頭まで拭くのは滑稽ですから首や手に止め、顔と頭は自分のハンカチで御拭き下さい。

縞物を選べ

殿方の夏向ハンカチ

▽…貴女は御主人のハンカチに對して、どれだけの關心をお持ちですか。

▽……先づハンカチは、白と云ふ觀念にあまりとらはれ過ぎていらつしやるやうです。これは日本人の潔癖から發したことだらうと思ふのですが殿方のハンカチは、普通の場合でしたら縞物が好ましいと思ひます。又ハンカチ、ネクタイ、靴下に對しては五分々々の注意をおはらひになるやうおすゝめします。

▽……先づハンカチの地質は―絹物は色は美しくあがりますが、汚れ易く皺になり易いと云ふ缺點を持つてゐますし麻はサラリとしてゐて脂や垢はよく吸ひとられますが、色は美しくあがりません。

▽……これ等を考へ合せますと、麻を絹の様に細く紡ぎ、ガス手にあ上を糸しらつたものが一番いゝと思はれます。地質は薄地のものがいゝことは勿論で、俗にハンカチをしぼつて白銅の穴をくぐる位のものがいゝと云はれてゐる位です。

▽……ハンカチの大きさは、外國では十八吋か十七吋位が適當の大きさの様に思はれます。色は他の服飾品―ネクタイ、ワイシャツ等と調和するものを選ぶべきです。なほ仕立てのいゝものを買ふ事は勿論ですが、これにはハンカチのフチの部分をみて、眞直のものをお選びになることです最後にハンカチのつかひ方ですが、やはり三角に折つて胸のポケットにお入れになるのがいゝでせう。そしていま一枚、手をお拭きになるハンカチはズボンのポケットへしのばせておおきになること。ハンカチは勿論、毎日洗濯をしアイロンをかけてあげて下さい。

涼風通信 (1)

熊岳城聚落團より

川遊び 四年 長島和子

夕御飯がすむと、先生といしよに川の中にはいりました。川のふちはぬる/\してゐたので男の人が「わあ、きもちがわるいなあ」と言つて、さわいでゐた。私も氣持がわるかつたがおもしろい。まん中ごろは、とてもふかゝつた。私は、しみずをまくりあげながらはいつた。男の人たちが、足をばちや/\しながら、おゝよろこびでした。川の中にあめんぼうがたくさんをつたので、私たちは、あめんぼうを、おつかけまわしてゐた。とつたかと思ふと、又にげるので、又おつかけたら、ようやくのことで、あめんぼうを三匹取つたが吉田さんがにがしてやりなさいといつたのでにがしてやつた。すると又捷井さんが、こゝにたくさんゐるよといつたので、そこに行つて見たら、うぢや/\とたくさんかたまつてゐたのでとらうとしたら、先生がもうおあがりと言つたのでざんねんだつた。

私たちの家 四年 宍戸美智子

私たちのとまつてゐる家の周りはとてもよいけしきです。私たちのゐるへやの窓から見ると、木がしげつて、そのむこうに、川がながれてゐます。その川は、あさいので、私たちでもちやぶ/\と水の中であそばれます。時には砂をほると、大きなかにが出て來ます。あめんぼうも、たくさん、すい/\と、うれしそうにおよいでゐます。川のむこうに、てつきようがあります。うらの方は、公園になつてゐます。木がたくさんしげつてほんとうにきもちのよい公園です。公園の前に、プールがあり、「おんせんぶろ」があります。時どき、汽車の通る音が聞えます。

熊岳城についた時 四年 今井常祐

汽車で熊岳城について、待合室で、まつてゐると、つばめがとびまわつてゐるありさまは、とてもうれしさうだ。しばらくして、バスにのつた時は、きもちがよかつた。まどからのぞくと、西洋建の家がある。その前をぐん/\とすぎてゆく、目の前はもう木があをあをとしげつてゐる。やがて温泉場につきました。

料理獻立

胡瓜沈菜 (胡瓜とキャベーヂのお香物)

これは地廻りの胡瓜の姿のすんなりした三、四寸長さのものでおこしらへになるとよろしうございます。この胡瓜にお藥味をはさんだものをキャベーヂの葉で一つづゝ巻きましてつけ、二、三日で食べまして又漬けこむといふ風にします。

【材料】胡瓜十五本、キャベーヂ一個、唐辛子四、五本、薑、せん切大匙一杯、みぢん切大匙一杯、細葱半本、白ゴマ、炒つて半摺にしたもの中匙一杯、醤油中匙一杯、胡椒少々、食鹽中匙一杯、調味料少々、櫻桃二十個

胡瓜は板ずりタテ三つさき目を入れここに藥味をつめ、キャベーヂで巻き、藥味を合せ一夜漬けます。

△豐臣秀吉母の急病に名護屋より京都に向ふ(天正二十年)
△佐久間象山幕府に海防意見書を出す(安政四年)
△江戸幕府の遣歐使節歸朝(元治元年)
△アメリカのポスト世界早廻りに成功(昭和八年)

けふの番組

(M・T・O・Y 新京放送局) 廿二日(木曜日)

六、三〇ラヂオ體操・入港船
〇××〇のお知らせ(大連)
××朝×× 六、五〇中等滿洲語講座(大連)
〇××〇 講師秩父固太郎
七、一五朝の音樂(大連)
七、引續き防空ニュース
四五建國體操
八、〇〇氣象通報(大連)
九、三〇經濟市況(東京)
一〇、〇〇家庭講座(大連)
一〇、二〇料理獻立
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況(大連・新京)
一一、三五經濟市況(大連)
一一、四〇經濟市況(東京)
一一、五九時報(東京)
〇××〇 〇、〇五 晝の演藝
××晝×× 絃樂合奏(奉天)
〇××〇 奉天絃樂合奏團
セレナーデ モーツアルト作曲 指揮石垣用昌
第一樂章 アレグロ
第二樂章 ローマンス
第三樂章 メヌエット
第四樂章 ロンド
〇、四〇ニュース(東京)
引續き防空ニュース・ニュース
一、〇〇經濟市況(大連)
三、四〇經濟市況(東京)
四、〇〇ニュース(東京)
引續き防空ニュース・ニュース
四、三〇經濟市況(大連)
五、二〇ニュース(鮮語)

東京無線 (ラヂオの御用は …)

五、三〇東京大相撲實況=康德會館前相撲場より中繼=(備考〇印は相撲實況なき場合放送)
〇五、二〇ニュース引續き演藝(鮮語)
〇六、〇〇趣味講演(京都) 世界の急行列車を語る 工學博士 瀧山與
〇××〇 ××夜×× 〇××〇
〇六、三〇子供の時間(東京) 童話劇 夏休み大歡迎 東京放送童話劇協會
〇五、六〇コドモの新聞(東京) 關屋五十二
七、〇〇ニュース(東京) ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇講演(大阪) =大阪市四ツ橋電氣科學館より中繼= プラネタリュームを映寫して星座を語る 理學博士 荒木俊馬
八、〇〇雅樂と紫笛(京城) 一、雅樂―李王職雅樂部より中繼― 乾坤歌 李王職雅樂部員 指揮雅樂師長 咸和鎭 (釜山) 二、紫笛六字の歡 美春
八、一五哥澤(東京) 一、夕暮 唄哥澤芝加美津 外 三味線哥澤芝榮
八、二五浪花節(大阪) 輝く貞節 筑波武蔵
九、〇〇連續科學小説(東京) 地球盗難(三) 海野十三原作 荒牧芳郎脚色 大木正夫作曲 江川宇禮雄 外 星ひかる
九、三〇時報・ニュース(東京) ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇、〇〇防空ニュース
一〇、一〇 (奉天)
一〇、三〇北滿の時間(哈爾濱)

夏家河子にて 新京高女團第四信

合歡咲きぬ (七月十五日)

昨日酒井先生が「明日は朝早く海へ魚釣りにつれて行く」とおつしやつたので寢る前にSさんに「明日は早く起してね」と頼んで寢に就いた。「Yさん、Yさん」と呼ぶ聲にヘツと目を明ければSさんが私の鼻をつまんでゆすつてゐる。床の上にはNさんがさも放心した樣にポカンとねむそうな眼をしてゐる。「どうしたの」「馬鹿ね、もう忘れたの、昨日S先生と沖に魚釣りに行く約束ぢやあなかつたの、二年の方はもう起きてゐるわよ」と言はれて、やつと魚釣りを思ひ出した。あたりでは空氣枕をぬく音、ひそ/\と話し合ふ聲、「うーん」とうなつて寢がへりをうつ人。キャラメルを入れて上げたい程な口を開けて寢てゐる方もゐる。うす暗く時計の針も見えない目を醒さぬ樣にと、こそり/\と氣をつけ下駄の後齒で歩く、靜かなつもりだが床の上の砂でざり/\と音がする抜き足差し足まるで泥棒の樣水で顔を洗ひやつとのことで目がさめた。さてすつかり用意は出來た。だが肝心の先生は見ると影も形も見えない。さては置いてきぼりにされたかと憤慨するやら口惜しがるやら。私達は服のまゝねころんだ。六時半朝禮だ、サク/\とふむ歩調もかるく颯爽として海岸へ八時半より一番いやな自習、水泳準備の聲を聞くと今迄ねそべつてゐた人も飛びおき戰場の樣だ。眞夏の太陽がきら/\と砂を照りつける。飛び上る程あつい、午後の波は荒い、海に接した事のない私共はびつくりしてゐるとY先生が「僕の郷里はこんなに高い」と頭の上を示された。背の高い先生の頭をこす位なら隨分あるだらうと二度目をくり/\まはす。かくしてぐつたりつかれた私達は美しく咲きそろつた合歡の並木を通つて宿へ。そこには入浴、夕食が待つてゐる。夜は七時半頃から懇親會が催され夕方の一刻をたのしく過した。(瀬戸、成松、吉井)

連續科學小説 地球盗難

【後九時】 江川宇禮雄外

大隅理學士に、辻川博士の秘密が、スッカリわかる時が來た。東京の天文臺長河内理學博士や、ロケットB十八號によつて他の遊星に到着した佐々記者等の知識の協力によつて、ウラゴーゴルとは、或る遊星の名稱であり、其處には驚嘆に價する知識の所有者の生物が棲息し、地球の辻川博士と、それに獨逸のドクトル・シュワルツコフとを抱き込んで、地球を捕虜に仕様といふのである。そのために、例の三箇の隕石を地球に投げその隕石にはウラゴーゴルの生物のアミーバーを附加すると共に、その隕石に電氣を放射することによつて地球をウラゴーゴルに引き寄せる手がゝりにしたのである。折々辻川博士の洋館のあたりを漂ふ巨大な白幽靈は、この石に附着したアミーバーが孵化したものであるし、また最近の地球上の、天文學的、氣象學的變化も、皆ウラゴーゴルの地球への接近に由來したものである。更に、例の大龜大の甲虫の出現も、倫武夫少年が大入道と化したのも、いづれもそれに歸因するものであつた。序でに附加すれば、例の洋館が發する焔の柱は、辻川博士がロケットを發射する際の電光であつた。さて辻川博士は絶命し、大隅理學士には秘密をかぎ付けられ、剩さへドクトル・シュワルツコフはウラゴーゴルに逃離した今では、地球盗難といふ怪計畫断念したウラゴーゴル星は地球から遠ざかつたが、その頃、地球上では、全世界が大隅理學士の説に傾聽し、賛否兩論がゴウゴウと沸き立つた、さて最後に、大入道と化した武夫少年の其の後であるが、お母さんとお美代ちゃんとが非常によろこんだことには、ウラゴーゴル星が地球から遠ざかつたことによつて、また普通の人間の大きさに立ち還り萬事は目出度く此處に解決するのであつた。

哥澤

唄 哥澤芝加美津 三味線 哥澤芝榮

後八・一五(東京)

一、夕ぐれ 本調子「夕暮に眺め見あきぬ隅田川月の風情を待乳山帆かけた船が見ゆるぞえアレ鳥が鳴く鳥の名もみやこに名所があるわいな」

二、夜のあめ 二上り「夜のあめもしや來るかとたゝみざんかみでかへるのまじなひもむしが知らせてともし火の丁字も飛んだ今時分氣まぐれさんすエ、ぬしのこゑ」

雄辯 (八月號)

◇「雄辯」八月號中の呼物記事は「夏季特別大講演」の特輯。◇「世界は動く」鶴見祐輔「國運進展の原動力」健川美次「文藝の國家的使命」木村毅「現代人と文明病」式場隆三郎「支那の軍備と新生活運動」雨宮巽「國際情勢と我等の覺悟」米田實「青年の時代に處する道」河上丈太郎「祝祭佛事と生活改善」高島米峰「石油を制するものは世界を制す」大村一藏◇他の特輯の一、「悶えるロシヤを解剖す」この內容は「赤軍動亂の眞相」馬場秀夫「ソ聯極東軍の暴戾」柳澤壽夫「スターリンとはどんな男か」角谷健二の三篇から成つてゐるが、これも見逃せない記事だ。◇徴兵檢査を語る座談會は國民體位が云々せられ、保健社會省の新設も噂される時、これを青少年に讀ませておくことは大いに意義あることであり、父兄に於いても多大の關心をもつて讀んでよいものである。

キング (夏の増刊)

◇増刊ばやりではあるがだん/\內容が洗練されて來てゐるのは結構だ。キング夏の増刊は「面白づくめ號」と銘打つた。例によつて讀切の快作が二十二篇、講談、落語、漫畫漫談それに映畫物語が二篇、芝居小說が二篇、「海と山避暑遊覽旅行案內」の刷込み附錄がついてゐる◇「夏の輪舞」片岡鐵兵をはじめ「武士は渴しても」菊池寬「こゝろの眞珠」加藤武雄「ゆきづり人情」原巖「父の悲曲」竹田敏彥「大鳥逸平」村上浪六「迷路の三人」橫溝正史「忍道血風錄」小山寛二……等々增刊向き作品が堂に入つた。◇「友情の彼方」細田民樹「ガラマサドン」佐々木邦「踊る歌」市橋一宏「文覺」大田黑克彥「善運惡運」谷崎精二「十年め」下村悅夫「黑い胡蝶の死」鳥羽龍介「お美津審」山本周五郎「不死鳥」中村武羅夫「殺人病患者」大下宇陀兒「最後の火烙り」村松梢風「接吻の後に」明石鐵也「戒名鬼千疋」穗積驚……表題を讀んだだけでも興味を唆られずには居れない、この名作陣である。

現實への追究
O・P・Q

近頃内地の文壇でもロマン興隆の機運が漸く本道に乘りだして來たやうである。その根據とするところが、純文學の局面打開にあるのであらうし、また短篇や中篇に盛り切れないほどの材料を持つ作家たちの創作慾にもあるのであらう。が、我が國の文壇では

從來とかく純文學といへば身邊雜記的な私小說に限られてゐてロマンらしい人物と構成とを具へた作品といへば、通俗小說として繼子扱ひにされる傾きがあつた。尤も在來の長篇ものには卑俗な興味本位のものが多かつたから、さうした扱ひを受けるのも當然で

ある……いやさういふものは眞の意味でロマンとも呼ばれないものであらう。眞のロマンとは凡そ創造的な想像力と構成力とを具へた純正な小說家の最も內的な要求と切り離せないものである筈である。凡そ人間は現實の生活に於ては直接間接に外部から制約を受けざるを得ないのである。從つて人間が己の裡に藏する多くの可能性多樣性は完全には發現し得る機會を持たず、そのまま窒息せしめられてしまふ運命にあるといへよう。さうした內的なものを全的に發現して一種のカタルシス作用を行ひ得るのは、ひとり作家にのみ惠まれた特權であるのだ。

作家が諸々の性格を創造し、從つて作家自身の生活とは別個な生活や事件を構想するのは、自已の裡にある思想なり感情なり欲求なり、即ち內的な多樣可能なるものに凡て肉體を與へるがために他ならない、その時、所謂現實は、小說に眞實らしさを添へて人間の理解に訴へるためのいはゞ手段に過ぎないかも知れない。しかしさうであればこそ平凡なリアリズムから逃れられるのであるし、また逆に飽まで現實に腰を据えてゐる限りでは架空の世界に墮さずに濟むわけである。

要するにロマンは、いひ換へると作中の諸人物は、そのまま作家の生活や願望の延長といひ得る。つまりロマンは、普通考へられるやうに、作家の內生活とは、無關係な、安易な讀物であるどころかそこにおいてこそ、恐らく私小說の類よりも、全的に深刻に作家の魂が現れる筈である。

近作（二）
桃北好澄

兄われが手紙をかかぬ明暮をおもひ傷むといふはまことか

妹が便りをよみて歎きしは束の間すなはち雜務に紛らふ

驕慢の神を畏れぬ日にさへやまさ目に父に逢ひたかりけり

諦めてゐまさむと思へばさびしもよ手紙書かざる時經ちにつつ

ふるさとの鄙のわぎへに待ちたまふ父を思ひてよべもまどひぬ

朝覺めのまみに描きて專らなるわがふるさとは杳かなるかな

天翔ける翼もたざるゆゑにかも怠けをりつつ空しさあまる

漫談　バルコニーで集めた話（一）
里見義郎

今年も吉例に依つて夏が來ました。

何處に來た―
山に來た
里に來た
街に來た
海に來ました

例年の如く夏は春秋多から比較するとなんとなく暑くなるやうに出來てゐます。耐久力の弱い人はこの暑さに負けて、朝寢をしたりヒルネをしたり、ヨル寢をしたりして、ダレのウダリになるやうですが、活動家は決してこのウダリ氏を相手にしないガゼン頑張つてモツパラ活動することになつてゐます。

それは働けば涼しいーといふ言葉があります。ボクも大いに働いて涼しい漫談をやります。この涼しいといふ言葉は吾々日本人の特產物と思ふが如何でせう。

滿洲や支那にも「涼」といふ字はあるですが、日本の「涼しさ」と同じかどうか少しウタガワしいと思ふです。「涼しさ」は日本人だけの感じ得る特產的な、微妙な感覺ではないか、といふ氣がするです。

單に氣がするだけでなく、そのレツキとした根據なるものがいくらもあるんです。

我國の國土が、氣候的に、地理的に、餘程特種的な位置にあるからで、日本の本土が大體に於て、溫帶に位ひしてゐて、細長い島國の兩側に海と海流とを控へ、陸地には背梁山脈が聳へてゐますね。これだけの條件を具備した國土は日本の外は無いと思ふ。氣候的に地理的に惠まれてゐることが、つまり「涼しさ」の感じられるところと思ふです。ジャズやネオンの流行る都會でも、朝顏の一鉢がオフイスの窓に開いて涼風を呼んでゐるのも、やはり日本的涼風と思ふです。日本的涼しさを文字に結唱させたものに―

涼しさや蚊帳の中より和歌の浦

滿潮を涼んで居れば月が出る

といふ漱石先生の句がありま す。

「涼しい顏」といふのもある。例へば收賄の嫌疑で豫審中でありながら候補に立つ人や、それをまた優良な候補者として推薦する心臟の強い人々がそれです。

俗世間の毀譽褒貶を超越した人の顏も涼しそうなら、少しカンのニブイものがとんでもない失策を演じ乍ら、御當人はそれに少しも氣がつかないのも涼しそうです。

約束の日をウツカリして野球を見に行つたり、受持ちの講義の時間を忘れて魚釣りに沒頭したりするのも、これを他から見れば案外涼しい顏に見へるでせう。

義理人情の着物を脱いで圈外へ飛び出しても涼しいだらうし、まだ／＼この種の涼しさは探せば他にいくらもあると思ふ。

「風涼」とは心の風とほしのよい涼しさを意味するもので「南畫」の持つ涼味も「風流」と共通した涼しさがあるやうです。

風鈴の音の涼しさは風のまに／＼鳴るから涼しく聞えるので、あれが自動機械か何かでチャン／＼鳴つては涼しくないと思ふです。

薔薇は老ひぬ
―佐藤春夫の一文―

キゲクバ　機
seiri

佐藤春夫が永井荷風の「濹東綺譚」について「文藝」（八月號）に書いてゐるのを讀んだ。この年を經た詩人小說家は、いまの若者に「いかに荷風を讀むべきか」を敎へる積りなのであらうが、その心情に好意は持てても、われらは何ら特別に敎へられるところも無かつたと思ふ。

思ひ出されるのは、同じ雜誌の先月號に萩原朔太郎が同じ小說について書いてゐた文章である。其處には確かに豐かな滋味があつた。觀察の眼のひろさがあつた。現代に生きてゐるものの呼吸づかひがあつた。

佐藤春夫の一文は、もはや薔薇も老ひたのかと感慨無きを得ざらしめたのである。（B・J）

川柳募集吟
課題「夕涼み」　岩下爵府選

流れ星團扇かざした夕涼み　一坊
思ひ切り寬たり步く夕涼み　龍峰
舟提灯波にゆられて夕涼み　近良
夕暮をラヂオで涼む素つ裸　わたる
涼み台通る娘の品をほめ　忠常
夕涼み椅子提げて來る話好き　三休
旅行談輻をきかせる涼み台　みどり
薄化粧して未亡人夕涼み　英子

「佳作」
誰れ彼れと噂の種を涼み台　健兒
當てのない風を待つてる夕涼み　貞子
夕涼み顏が出揃ふ社宅街　同
今日買つた金魚園んで夕涼み　一坊

「秀逸」
夕涼み世間話しの意地が出る　貞子

「軸」
涼み台花火が終つてしまはれる

三重苦の聖女　ヘレン・ケラー小傳

大學生活

一九〇〇年から一九〇四年まで大學の講義を聽きながら勉學の餘暇を割いて著述にふけつたヘレンの生活は多忙でした。大學時代にどんな苦勞をしたか說明すると、あまり專門的になり過ぎますのでこれは省略して、以下彼女の記述によつて大學の難解な講義か如何に彼女の精神にしみ込んだかを御傳へ致しませう。

『哲學を學んでゐる時は私の一番好きな時で、私は哲學を學び得たといふことだけでも大學の四年間は無意味ではなかつたと思つて居ります。春雨を受けて野の面が青々とする樣に、私の魂の世界も哲人の言葉の雨を受けて美しくされて行きました。それまでだつて勿論私は自分だけの信仰と想像を持つて居りましたが併し哲學を學んで初めて私のやうに色と音の無い世界に住んでゐる者にとつては、經驗の不足のために陷り易い誤れる認識を警戒しなければならないといふことを敎へられました五官の揃つてゐる哲人の說く所から私は、自分の覺束ない信念に對する力を與へられると共に、彼等にあつても、感覺の如何に信用し難いものであるかを知ることが出來ました。』（私の生涯其の二）多少でも哲學を學んだ經驗のあるものならヘレンのこの心境が如何に謙虛であり心憎きまでも哲學するにふさはしい心構へに寧ろ羨望を禁じ得ないでありませう。

近世哲學史の開卷第一頁に現れるデカルトの有名な『我思ふ、故に我在り』に觸れて絕對は單に胸の中に藏して置くべきものではなく、如實に生活を創造するところの手段であることを醒まされたのでした。カントが『槪念を伴はない感覺は無意味であり、感覺を伴はない槪念は空虛である』と書き殘したのを讀んでから彼女は拘束された自己の感覺にもつと深い思想と感情とをこめるやうになり、銳敏な觸覺や臭覺の喚び起す印象をもつと周到に吟味するやうになり、また『時間と空間とは一定不變のものでなくて、私達が人生を經驗するための變化多き途である』とのカントの說を聽き、今迄感覺の力を過信して時間空間の堅牢な壁の中に閉ぢこめてあつた自己を飛躍させて、多年の思出を一時間のうちに壓縮し、一時間を永遠の長きにまで引伸し得ることを知るに至つたのでした。

片輪のケラーに人生が判つてたまるか！と批評家達が吐き出すやうに言つたのに對して、彼女の哲學に對する理解は雄壯にも抗議してゐるのです。

彼女の大學時代の先生は一二の親切な方を除けば、何も特別に厚意ある援助もして呉れなかつたさうですが、勝氣な彼女にはその方が寧ろ幸だつたかも知れません。

歯と歯齦の抵抗力を强くする

ライオン歯磨

何處でも噂の種となつてゐる

空前の大優待

全滿洲・關東洲
御愛用者優待

大懸賞

締切迫つて人氣愈々騰る。

御應募は
今直ぐ！

懸賞課題

下記の處へ適當な文字を入れて「驚くべき吸着力と殺菌力を有する『世界で一番名高い歯磨』」の名にして下さい。

ラ○オン歯磨
又は
獅○牙粉
獅子○膏

賞品

壹等　金側腕時計　寫眞機　鏡臺　ポータブル蓄音器　ラヂオセット　六十名様（各十二名様宛）

貳等　電氣スタンド　二百名様

參等　ハンカチーフ　六百名様

四等　美術懷中鏡　四千名様

等外　ライオン煉歯磨　又はアースタム　十〇錢　殘り全部の方

以上二十萬名様の割合

締切　七月卅一日

○應募用紙　次の五種の何れでもよろしい。

ライオン煉歯磨の外函の裏面。

ライオン粉歯磨特大袋か大袋の上部を四分の一程切り、それを葉書大の紙に貼つたもの〻裏面。

潤製ライオン歯磨の帶封を葉書大の紙に貼つたもの〻裏面。

ライオン歯刷子一號・二號・三號何れかの外函の裏面。

ライオン水歯磨一號瓶か二號瓶の包紙

○應募の方法　前記の應募用紙の何れか一つに一、課題の答　二、御希望の一等賞品名一つ　三、御住所と御姓名　四、廣告を見た新聞名をわかり易く書いて御郵送下さい。

送り方　お買ひ求めの販賣店へ取次をお頼みになれば郵税も省かれて御便利です。直接左記へ御送附の場合は四錢切手を貼つて下さい。多數の場合は小包便でも結構です。

○郵税不足は受付けませんから御注意の事。

▲送り先　奉天浪速通一八高橋ビル內
ライオン歯磨滿洲駐在所

締切　七月三十一日迄に駐在所へ到着の事。

抽籤方法　正解者を一等賞品希望別に抽籤し、順次等級を決定す。

當籤發表　九月中旬主なる新聞紙上に一等　二等　三等の御當籤者を發表其他は賞品の發送を以て之に代ふ

應募區域　は滿洲、關東州に限る。

〆切迫る

歯の爲めに、歯齦の爲めに一番よいライオン歯磨を、此の御優待の機會に御買上下さいませ。これこそ健康と御利益との一擧兩得です！

ライオン歯磨本鋪
株式會社　小林商店
東京・大阪・名古屋

新京管區防空演習 今朝六時情況開始

第一次準備演習の總決算 昨夜十時・想定發表

國都防空に完璧を期せ

廿二日午前六時から情況開始される新京管區防空演習はさきに擧行せられたる第一次準備演習の總決算とも言ふ可きものであるこれを以つて愈よ最後の全滿防空演習に入るのであるが此の演習には從來の貴重な體驗に基き實戰そのまゝの壯烈なる各種防護、警備、傳達、管制等の各訓練が實施される參加各防護團員市民は飽くまで緊張、國都防護に完璧を期し全滿の模範たらしめる心構へが必要である、新京管區防衛司令部では二十一日午後十時左の如き想定を發布、これによつてかねて待機せる各防護團員は勇躍一齊配備についた

想定

一、滿洲國を繞る甲、乙兩國は數年來惡辣不法の手段を以て絶えず滿洲國々境を侵し且其の治安攪亂に專念しありしが六月上旬以來其行動特に暴戻不遜を極む

二、日滿兩國は其の建國精神に基き事を平和外交々渉により解決に努め來りしも今や開戰の危機眞に切迫せるを察し國土防衛の爲夫々準備を爲しつゝあり

佐伯、酒井兩隊 匪團を潰滅

【〇〇廿一日發國通】岡村部隊本部發表

一、佐伯部隊の浦山隊は、十七日三江省賓清縣南天門西方約七キロの地點に於て陣地を占領せる合流匪二百名を攻撃交戰二時間にしてこれに殲滅的損害を與へて潰走せしめたが、本戰闘に於て中澤部隊の步兵上等兵谷地兵藏（福島縣）、一等兵遠藤榮三郎（福島縣）は名譽の戰死を遂げ、上等兵菊田清は重傷を負つた

二、酒井部隊の吉田隊は十六日午後十時頃賓河縣元賓河北方地區に於て、合流匪を攻撃、交戰一時間にしてこれを潰走せしめたが、上等兵鈴木隆は負傷した

プールで溺死

二十一日午後櫻木小學校プールに於て同校生徒二百餘名が清水、坂根、星三訓導の監督の下に遊泳中本籍福岡縣山門郡東山村一〇七六、興安大路陸軍宮下代用官舍の一七號軍司令部兵事部軍屬坂田友藏氏長男登君（一〇）が午後二時頃プール中で溺死した、急報に接し領警署より高柳司法次席檢證を行つたが三尺五寸餘の深さのところに於て心臟痲痺で溺死したものと判明した（寫眞は登君）

協和會中央本部 きのふ移轉

協和會中央本部並びに首都本部では二十一日、大同公園北側に新築成つた協和會館に移轉を行つた、二十二日から同會館で執務する

東三馬路に狂犬現る

二十日午後七時ごろ特別市東三馬路市營住宅附近で遊んでゐた同住宅の年齡何れも七、八才の日人幼兒三名、滿洲人幼兒五名が突然現はれたセパード雜種（生後一年半）に咬みつかれ時節柄大騷ぎとなり首都警察廳から中野獸醫、東三馬路四十四獸醫田島義次氏が現場に急行、なほも附近を橫行中の犬を引捕へ撲殺解剖に附した結果、果して十八日發病の狂犬病と判明したので直ちに被害幼兒に應急處置をなすとともに附近の消毒をなしたが發病日時からみでこの外にも被害者が相當ある見込みで當局では狂犬病猖獗期に入りもし犬に咬まれた場合は直ちに手當を施す樣一般市民の注意を促してゐる

殺人魔ホクロ少年 奉天で逮捕さる

飲食店女中の聞込みから端緒

僅か十五歳の年少で慘虐にも主家の妻女を始め三人を殺害し帝都に少年犯罪恐怖時代を現出した東京市荒川區三河島町二ノ二六二〇番地七稻砂糖店々員三河島のホクロ少年七稻軍雄（十五）は六月廿日犯行後主家の手提金庫より百五十圓を奪つて逃走大膽にも嚴重な警戒網をくゞり拔け滿洲に高飛び沿線各地を放浪して犯行後一ケ月を經て二十一日午後二時奉天十間房電車通り三谷旅館に潛伏中かねて搜査の手配を受けてゐた奉天署の手に難なく捕へられた

このホクロの七稻少年は遼陽生れであるので或は滿洲に高飛びしたのではないかと警視廳より全滿各警察署に寫眞を配布、逮捕手配されて奉天署においてもひそかに行方を嚴探中であつたが同署野原巡査が管內の飲食店を臨檢中稻葉町飲食店繁酒家女中前田スミ子（二六）が示された犯人の寫眞を見てこの子なら十間房の三谷旅館に止宿してゐるといふのを聞き込み、直ちに同署司法主任以下總動員して駈付け同旅館の二階で雜誌に讀み耽つてゐる七稻少年を難なく逮捕した

同少年は犯行後日本各地を放浪した後奉天に來り奉天の旅館から旅館を宿り歩き今日まで法網をくゞつて來たものでホクロ少年は黑眼鏡をかけ、晝は一向外出せず夜は映畫を見物して居たので持金は殆んど消費して財布には僅か五圓を殘してゐたに過ない、逮捕された七稻少年は奉天署司法室で取調べを受け天野司法主任の訊問にスラスラと答へ一切を自白したが、目には後悔の淚をたゝへ濟まない濟ないと泣きながら

おばさんや店のものから何時もイヂメられるので積にさはつて堪らぬので何時か隙を見てヤッテやらうと思つてゐたが、丁度おやぢが箱根へ行つた留守にヤッゝケこれで胸がスーッとしたので東京から豐橋に出て活動を見、それから下關に着き滿洲に逃げやうと奉天までの切符を買ひ六月廿二日夜奉天に着き、驛前の常盤旅館に泊つたが危いと思つたのでアッチコッチと泊り歩いた

と語りさすがに犯行決行の夜自分の犯した罪の恐ろしさに唇をふるはせて後悔の淚を止め度もなく兩頰に流してゐた（寫眞はホクロ少年）

待望・東京大相撲

琴々觸れ太鼓に相撲氣分橫溢 愈よけふ初日蓋明け

大連奉天で國技の妙味にファンを完全に陶醉しつくした東京大相撲一行四百名は愈よ市民待望裡に今二十二日よりニッケ前に於て滿洲場所第十日目から四日間、新京場所を華々しく擧行することになつた鶴首して待つた愛角家連は二十一日一行の乘込みでちらほら見るお相撲さんに魅せられその音も勇ましい觸れ太鼓の音に恍惚として相撲氣分早くも橫溢して居る、橫綱玉錦を始め三場所連勝制覇して二十六歲の若さで橫綱の榮譽をかち得た青年双葉山大關清水川、鏡岩その他一行の力戰は好角家を熱狂さすであらう、なほ每日稽古開始は午前七時、取組開始は午前十一時となつてゐる

酌婦、內金を持つた儘雲隱れ

本籍東京市北千住區千住二ノ八二田中フミ（二二）は去る十八日富士町紹介業兒島淸六氏方を訪れ酌婦に周旋方を依賴したので西五馬路料亭梅の家に契約して內金百圓を渡したが二十二日午後二時田中は金泰洋行に行くと稱して外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので驚いて領警署に搜査願を出し目下搜査中である

"死んで碑を殘す" 白山公園の虎に記念碑建設

先般相次いで病死した白山公園の二頭の虎の死を悼みその冥福を祈つてやらうと管理者建設局草地土地科長の發起でこんど同公園內適當の地に虎の記念碑が出來上る

高さ五尺、周圍二尺程度のもので「雄威在此」（假題）と記し背面碑文には二頭の虎が東滿密山地帶で生捕られ公園入りして死に至る迄での經歷？が書き記される目下注文中の石材が到着次第建設に取りかゝり遲くも九月上旬頃までには完成の豫定である

お父樣の按摩代を溜めて"兵隊樣"へ

八島校女生徒が本社通じ獻金

二十一日の午後、炎天下を本社へ訪れた一少女、"これお願ひします、と差出した"兵隊樣"と表に記した封筒、たづねるまでもなく皇軍慰問金だ、封を切ると中からガラガラと出た、三圓十五錢お宅はときいたが、いゝんですほんのあたしの心ばかりと云ふのみ、漸く八島小學校の四年生であることだけ答へて逃げるやうにして歸つてしまつた本社ではその純情に感激しつゝ封筒中になほ手紙があるのを發見、それは別項の如き少女らしい思ひやりのあるものである、がそれによつて此の少女は漸く八島小學校四年生中西智津子さんである事が判つた

新京はこの頃は大へんおあつくございます、私たちは夏休みで家におりましてもほんとうに暑いのに、お國のために、一生けんめい働いていらつしやる、兵隊さんたちはどんなにかお暑いことでせう、どうか、君のため、國のために一生けんめいにおつくし下さい、おねがひいたします、私は兵隊さんたちのことを思ひますと、ぜいたくなぞはできないと思ひます、私はお父樣のかたをたゝいてあんまをとつてあげるたびに、五錢づゝいたゞきますのでためておきましたのが、ほんとうにすこしでおはづかしいですが、お國のために働いていらつしやる兵隊さんにさしあげて下さい、おねがひいたします（原文のまゝ） 中西智津子

城內料理店組合 千五百圓獻金

城內新京料理店組合二十七軒を代表して井下郁也（新富）原情一（待月）田中末光（晃）黑川春三（事務員）四氏は二十二日午後領警署に訪れ國防費にと金一千五百圓を獻金した

旅行者の獻金

北支の形勢惡化とゝもに國民の國防獻金熱は全國津々浦々に擴がり幾多の淚ぐましい美談を生んでゐるが、二十日新京附屬地憲兵隊を訪れた二人の旅行者も旅先の新京で北支事變に活躍する皇軍將士の狀況を聞き非常に感激「これを兵隊さんに差上げて下さい」と一人は三十圓、一人は十圓をいづれも恤兵獻金し、さも滿足さうに引上げた、その篤行者達は最初は名前を明さなかつたが同隊の調べにより前者は吉林省磐石縣城內松本欽一氏、後者は同じく南治郎氏なることが判明した

ロシア美人料理店 營業許可に決定

國都に新情緒出現

市內祝町三丁目浪花ずしの女將中西キトさん（四一）はかねて國都に金髮碧眼のロシア人料理店を開設して大いに異國情緒を發散させやうと變つた企てを領警署に出願中であつたが、愈よ安達街の四〇七四〇九番地に於て營業を許可されることに決定した、祝町の浪花ずしにキトさんを訪へばホホ……と笑ひながら愛想よく語る

いつもお客さま達の話に新京にも何か變つた珍らしいところがあつてほしいとおつしやいますのを耳にしてゐましたが、私は以前にハルピンに居りましてこの商賣をやつてゐたものですから新京でやつて見ようとかねがね考へてゐました矢先奉天に於ても許可となり非常な人氣だと聞きまして奉天に出來るなら新京にもと出願したやうな次第でございます、幸ひに許可をいたゞきましたので八月に入ると建築にとりかゝり年末頃迄に開業致したいと思ひます、女は初め十五人位抱へる計畫でおりますがうまく行くかどうか……あんまり私の名を新聞に書かないで下さい

白衣の天使に この覺悟

「小銃の響遠ざかる……」「卷くや繃帶白布の衣の袖は紅に染み」と軍歌に歌はれた赤十字社看護婦の赤誠は國家に事ある毎に歌われてゐるが、最近北支の情況切迫を告ぐとき日本赤十字社滿洲本部に對し滿洲國及內地に居住してゐる救護員から召集志願者殺到する狀況で金子主事、石森救護主任等は感激しつゝ左の如く語つた

滿洲事變の際も現在大連小學校看護婦の西川愛さんの如き產後二十餘日を以て應召し人に秘して乳汁を搾り乍ら幼兒を母に托して勤務し又現在公主嶺陸軍病院看護婦長として奉職の宮崎つたさんは"實父危篤にも不拘、應召して終に"勤務地に到着した當日死亡したるも"人に秘して勤務せしもの等有りまして陸軍當局を感激せしめました、今回はその時よりも增して小供四五名あるものも姉に托すとか、現在職を辭して召集を待つもの、夫は軍籍無き爲めせめて私が國家に御奉公したいとか全く自己の責任に對しては父母を忘れ、家庭を忘れ、夫や子女を忘れて奉公すると云ふ有樣で大和撫子の心意氣に感激の外はありません

電々勝つ

對慶應最後の一戰 2—1

來征慶應軍最後の一戰對電々野球戰は二十一日午後四時半より西公園球場に於て孫（球）岩瀨、片岡（壘）三氏の審判のもとに電々先攻で開始された、一回表電々第二打者鈴木健の右越三壘打に氣勢昂り宇田村の三匍に鈴木生還をねらひ本壘に刺されたが、この間に一壘に出た宇田村一擧二進し次打者迫畑の遊越安打で生還して一點を入れゝば慶軍またその裏で一番打者根津左中間の三壘打をはなち次に出た大館の三匍失に生還同點となり緊張のうちに二、三、四回と兩軍無爲凡退、五回表に電々近藤見事な三前バンドに出で鈴木健のタイムリーヒットに生還一點をリードし躍氣となつた慶軍は八回からメンバーの大更迭を行ひ挽回につとめたが八回九回に電々鈴木投手鮮やかに强打者水野、成田、高塚を何れも三振で屠り堂々押しきり二對一で勝つた、閉戰六時十五分

スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
電	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
慶	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

▲トータル

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
電	30	2	7	0	0	6	3	5
慶	30	1	3	0	2	4	4	1

三壘打—鈴木、根津 二壘打—宇多村 併殺—電（鈴木健—宇多村）（行吉—鈴木勝） 慶（宇野—水野）（松森—岩本）

防諜のため 大連署管內 一齊檢擧

大連四署では時局に鑑み防諜のため廿一日午前三時を期し各管內の一齊檢擧を行ひ、大連署では寺兒溝居住の張明連（二七）外卅名、沙河口署は香爐礁三區居住楊廷發（二五）外十五名、小崗子署は住所不定郁子明（二八）外六名水上署でも十名を引致し目下嚴重取調中

新京朝鮮人青年會 自發的に解散

今後は協和會に參加合流

新京朝鮮人靑年會では二十日午後八時より民會會議室に於て金副會長司會の下に第七回臨時總會を開催し解消問題を滿場一致をもつて可決し左の如き宣言書を發表した

宣言

「我が新京朝鮮人靑年會は茲に總會の決議を以つて解消することに決定す」之れ協和會は滿洲帝國にいてその建國精神を無窮に護持し國民を訓練しその理想を實現すべき唯一の思想的、敎化的、政治的、實踐組織體として生れたる國家機關たると共に我等滿洲帝國々民の機關なれば之れに參加合流するは滿洲帝國の國民の責任であり且つ義務たるべし、依つて新京朝鮮人靑年會は自發的に之を解消す

右宣言す

昭和十二年七月二十一日 新京朝鮮人靑年會

山崎、杉山兩氏 けふ講演會

滿鐵新京支社地方課主催夏季大學特別講演講師山崎靖純氏は廿二日午前七時、杉山平助氏は同日午後二時着あじあでそれぞれ來京、同日午後二時から西廣場滿鐵俱樂部で山崎靖純氏、午後四時三十分から杉山平助氏が講演をなす豫定

承德放送局 廿二日開局式

非常時下に於てラジオが事件の速報ならびに國民の行動及び非常處置の指令ばかりでなく燈火管制暗黑中に於ける放送が如何に家庭に絶大なる力があるかといふ事は防空演習は勿論今次の北支事變で充分立證されつつある處であるが電々會社では時局に適應して一層放送網の各地强化を圖りラジオの使命を發揮するため二十二日から承德放送局を開設することとなつた、同局のコールサインはM、P、H、Y、周波數九一五キロサイクル電力五十キロワットで二十二日午前六時スヰッチを入れ式を擧行續いて君ケ代合奏放送に始まり華々しい開局式を擧行する、爾後は主として大連放送局及び新京百キロ滿語放送を中繼日滿語混合プログラムを放送す

呂大臣延吉へ

呂產業部大臣は二十一日午後十時十分發列車で延吉に向ひ出發

大村總局長來京

大村鐵道總局長は廿一日午後八時卅五分着はとで來京した

大西監理部長

滿洲國通信社編輯局々長兼監理部長大西秀治氏は二十一日着任挨拶に來社した

長島體育保健協會書記長 きのふ着任

三百萬圓の基金を以て新たに生れた財團法人滿洲國體育保健協會の初代書記長兼新京體育館長に就任した長島滿氏は廿一日午後六時卅分「あじあ」で民生部、體育聯盟關係者の出迎を受けて着京した、氏は京大陸上競技部黃金時代にその名を馳せ卒業後は大阪北濱の株式店加賀商店に勤務する傍ら東洋大會準備委員會總主事として活躍してゐた人で今後の活動が期待されてゐるが左の如く語る

滿洲には一度來たことがあるが新京に來たのは最初です、六月初旬對滿事務局秘書官鈴木武君から話しがあり中西理事に會つて決定したのです滿洲國の發展に伴ひ體育問題も重要視されて來ると思ひますが日本での大會に滿洲からも資格のある人は自由に出來るようにしなければならぬと考へます、協會の建築に關しても既に腹案もありますがよく研究の上着手する積りです何卒よろしく……【寫眞は長島氏】

若くあれ！とは萬人の望むところだが余りにも年若く視られるとヤリニクイ商賣もある▲アノ方面では若くみられるに越したことはないがネ▲その一人に市立醫院の山口院長がゐる、患者の宅に往診に出掛けて後日「院長往診料」を會計が請求すると「院長さんではありません、とても若い三十歲前後の先生でしたヨ」と院長を否定する▲當年四十三歲の山口院長も之には治療の施しようがなく、橋本博士に口髯を生やすよう命じてせめて一時の氣休めにしたと、世はさまざまだ

悲戀 髑髏組

（映畫化 上演）　林杢兵衛　金子士郎畫

（百五十八）

幾代の過去（十八）

「さア、平常あんなおとなしい、幾代さんの事を考へると、とてもあんな思ひ切った事は出來さうにも思へませんが、しかし、あゝ云ふ人が却って、いざと云ふ場合には、強い氣になるかも知れませんわ」

「左様か、だが、儂には、どうしても信じられぬ」

「どうしてで御座いますの？」

「あの時、直ぐ儂も部屋を覗いたが、幾代は確かに匕首を握って、殺された男の傍らに倒れてゐた。一寸見た眼にはなる程、幾代が男を殺して、自分も驚きのあまり、失心した――としか思はれないが、よく考へて見ると、どうも腑におちないところがある」

「どう云ふところが……で御座いますか？」

二人の女も、どうやら興味が乗って來たらしく、熱心に聞き寄って來た。

「何が、と云って、あの血だ。殺された男は胸をやられてゐるのだから、前から突いたに相違ない。幾代も前から突いたやうに匕首を握ってゐた」

「左様で御座いますか」

「ところが、幾代の着物に附いてゐた血は、肩から背中へかけて浴びたやうな形だ。突く恰好に匕首を握って、後方の人の胸を突くには、身を反らして、自分の肩越しに突かなければならないが、まア、假りにそう云ふことが出來るとしても、力が這入らないから、あの大男を一突きに刺し殺すことは出來ない。殊に、女の細腕では尚更だ。どうぞ、お前達はさう思はないか？」

「なる程ねえ、さう聞いて見ますと、少し變なやうな氣がしますわ。あの治郎右衛門さんは人一倍に大柄な方でしたし、女の力ではとても、前から突いたって、容易さうたやすく行かないかも知れませんわねえ」

「そこで、幾代でない外の者とすれば、一體誰だ――と思ふ？」

剛造は、今までの淋しさうだった顔に引替へて、すっかり元氣になってゐた。

「判らないわよ、あたし達には……」

「儂には大抵見當がついてゐるが、なる程お前達には判らないが本當だらう」

「それで旦那は毎日……」

「さうだ、かうして詰めかけてゐるんだ」

「いやですねえ旦那。まるで岡っ引のやうに、あたし達ぢやなくってよ」

「無論、女ではない」

「あたしの家に、男ってば、兄さんしか居りませんが、まさか大事なあの治郎右衛門さんを……そんな事はありませんわ、でも外から來る方で、つまりお客様の中にでも……」

二人の女中は、急に首をかしげて考へ込んだ。

「それは何んとも判らない、儂のやうに、幾代に夢中になってゐた男が外にもあれば、そいつが幾代と殺された奴との仲を嫉妬やいて……或ひはさうかも知れない、儂だって、場合に依れば、殺ったかも知れなかったからなア」

「まア、それでも幾代さんは羨ましい、そんな方あたし達にもあれば、どんなに氣が強いかも知れませんわ」

「ところがだ、當の幾代は、儂の事なんか爪の垢程も思ってゐちゃアくれなかった。でも儂は、あの下手人は、絶對に幾代ではない――と信じて疑はぬ」

「間もなく、ちゃんとしたお調べがあるでせうから、幾代さんだって、その時には、罪があるかないか判るでせうよ」